

かつしかの図書館

平成20年度 事業年報



葛飾区立図書館

目 次

1	葛飾区の概要	1
2	葛飾区立図書館のあゆみ	2
3	開館時間・休館日	11
4	組織図	12
5	委員会活動報告	
	(1) 一般サービス委員会	13
	(2) YAサービス委員会	13
	(3) 児童サービス委員会	13
	(4) 図書資料収集委員会	14
	(5) 障害者サービス委員会	15
	(6) システム検討委員会	15
6	(仮称) 葛飾区立中央図書館整備に向けた検討経過	17
7	施設の概要	18
	(中央館) 葛飾	
	(地域館) 立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉	
	(地区館) 四つ木・西水元・青戸	
8	事業の概要	
	(1) 一般サービス	20
	(2) 児童サービス	20
	(3) ヤングアダルト(YA) サービス	21
	(4) 視聴覚(AV) サービス	22
	(5) インターネットサービス	22
	(6) 団体サービス	22
	(7) 障害者サービス	23
	(8) 広報活動	24
	(9) 自主活動グループの支援	24
	(10) リサイクルコーナー	25
	(11) 学校との連携・学校図書館支援	25
	(12) 学校図書館ボランティアへの支援	25
	(13) ビジネス支援サービス	25
9	行事実績	
	(1) 一般室主催行事	26
	(2) 障害者サービス委員会主催行事	26
	(3) 児童室主催行事	26
10	各種統計	
	(1) サービス実績	33

(2) 登録者所在内訳	・ ・ ・ ・ ・	33
(3) 図書館資料費推移 (決算額)	・ ・ ・ ・ ・	34
(4) 登録者の推移	・ ・ ・ ・ ・	36
(5) 蔵書数の推移	・ ・ ・ ・ ・	37
(6) 資料統計	・ ・ ・ ・ ・	37
(7) 館別蔵書冊数	・ ・ ・ ・ ・	38
(8) 蔵書冊数表	・ ・ ・ ・ ・	39
(9) 図書貸出冊数の推移	・ ・ ・ ・ ・	40
(10) 図書貸出冊数表	・ ・ ・ ・ ・	41
(11) AV (視聴覚) 資料利用状況	・ ・ ・ ・ ・	42
(12) 予約・リクエスト統計	・ ・ ・ ・ ・	43
(13) 蔵書点検	・ ・ ・ ・ ・	44
(14) 図書受入・除籍数	・ ・ ・ ・ ・	45
(15) AV受入数	・ ・ ・ ・ ・	46
(16) 団体貸出の利用状況	・ ・ ・ ・ ・	46
(17) 障害者サービスの利用状況	・ ・ ・ ・ ・	46
(18) 貸出ベスト		
一般図書	・ ・ ・ ・ ・	47
児童書	・ ・ ・ ・ ・	48
CD	・ ・ ・ ・ ・	49
カセット	・ ・ ・ ・ ・	50
ビデオ	・ ・ ・ ・ ・	51
DVD	・ ・ ・ ・ ・	52
11 葛飾区立図書館例規集		
葛飾区立図書館設置条例	・ ・ ・ ・ ・	53
葛飾区立図書館館則	・ ・ ・ ・ ・	54
葛飾区子ども読書活動推進計画 (抜粋)	・ ・ ・ ・ ・	58

1 葛飾区の概要

○ 位置

葛飾区は東京都の東北端に位置し、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区、南は荒川を隔てて墨田区と江戸川区に、北は大場川を隔てて埼玉県三郷市と2市3区に接している。

○ 地勢

地形は南北にやや長く約9.8km、東西は約7.3km、面積は34.84km²と23区中7番目の広さを持ち、区部の約5.8%を占めている。区全体が平坦な土地で、海拔2.5mの水元、柴又地区から、マイナス1mの新小岩地区へと北から南へわずかながら傾斜している。

○ 区の人口

445,108人(男 223,338人、女 221,770人)

○ 世帯数

212,315世帯

○ 区の花

花しょうぶ



○ 区の木

しだれ柳



(平成21年4月1日現在)

2 葛飾区立図書館のあゆみ

昭和

- 24. 1 当区最初の図書館として、本田町17番地に葛飾図書館(現・立石図書館)開設。面積90㎡余、約3,000冊の蔵書で発足。入館料大人2円、子ども1円。(当時ハガキ1枚2円)
- 25. 4 「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止。
- 26. 3 第1回レコードコンサート開始。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者をつけて、土曜日の夜、閉館後に開催。(現・立石図書館)
- 28. 4 団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた10冊を1パックとし、50冊まで1ヶ月貸し出す。
- 30. 7 隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地(立石一丁目9番1号)に移転。
- 35. 4 夜間開館(午後6時まで)始まる。貸出冊数1人2冊とし、貸出期間10日間とする。
- 39. 4 平日の開館時間を、午後8時までに延長。
- 42. 4 旧新宿支所跡(新宿三丁目7番1号)に「葛飾区教育センター」を建設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館(4月20日)。貸出方式にブラウン方式を採用。(以後全館この方式となる) 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称。
 - 5 葛飾図書館内に郷土資料室を開設。
 - 9 団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管。(5人以上を1団体とし、1口10冊、5口まで1ヶ月貸し出し。)読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会および映画会を行う。(講師は、秋山ちえ子氏『家庭と読書』ほか。)(他館は昭和54年度から)
- 43. 5 レコードの購入開始。16ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始。
 - 9 「葛飾図書館報」創刊。
- 44. 6 団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスの広域化を図る。午前中受けたリストに基づき午後配本。
 - 8 電子コピーによる複写サービス開始。
 - 9 読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年2日間にわたり開催。
- 45. 5 入館票を廃止し、入館札(プラスチック製)により閲覧室は座席指定となる。児童室は全廃。レコードコンサートにクラシック、ポピュラー各解説者がつく。(葛飾図書館)
- 46. 4 図書の予約制度を導入。
 - 7 児童向けに図書館PRのためのキャラバン実施。(葛飾図書館)
 - 11 立石図書館、改築のため休館。
- 47. 7 視覚障害者のための点字図書の収集、貸出開始。1人5冊まで1ヶ月間。夏休み期間中、レコードの館外貸出開始。(葛飾図書館)
 - 8 「葛飾図書館報」第8号から「花しょうぶ」と改名。
- 48. 4 貸出冊数を2冊から3冊(児童室は4冊)に、貸出期間を2週間とする。
 - 5 立石図書館改修工事竣工、1日業務再開。旧図書館の4倍以上の規模となる。

- 49. 6 団体貸出の電話受付けを廃止し、来館選定方式となる。
- 51. 8 高校生以上を対象にレコードの貸出開始。(葛飾図書館) 1回2枚、期間1週間。
- 52. 6 1日、お花茶屋図書館開館(お花茶屋二丁目1番15号)。障害者用設備設置。
- 10 1日、都営住宅1階に上小松図書館開館(東新小岩三丁目12番1号)。
- 54. 4 レコードの貸出を中学生以上とする。(葛飾図書館)
- 55. 2 「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び、蔵書目標の骨子固まる。(中央館1館・16万冊、地域館6館・5万ないし7万冊)
学級招待をはじめて実施(立石図書館)
- 56. 7 立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナー設置。
- 10 1日、都営住宅1・2階に亀有図書館開館(亀有一丁目17番5号)。
- 57. 4 カセットテープの貸出開始。1回2本、期間1週間。(葛飾図書館)
- 6 1日、水元保健相談所と併設して水元図書館開館(水元一丁目7番3号)。
- 58. 3 図書の年間個人貸出冊数、6館合計で100万冊を越える。
- 5 一般室図書の貸出冊数を児童室同様4冊とする。期間2週間。
- 9 視覚障害者にカセットテープの貸出開始(葛飾図書館)
連絡車による宅配。電話でも申し込みを受け付ける。
- 59. 園招待を初めて実施(水元図書館)
- 12 葛飾区教育センターの改修工事始まる。(出張所分室、東福祉事務所の移転を機会に、葛飾図書館の拡充整備を行う。)
- 60. 11 葛飾図書館、改修工事完了。障害者用設備(対面朗読室、録音室等)設置。区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動する。
- 12 区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
- 61. 4 視聴覚障害者に対面朗読サービス開始。
- 10 区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
- 62. 4 一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足。
児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足。
- 6 25日、鎌倉図書館開館(鎌倉二丁目4番5号)。区立図書館で初めてCD購入。
同日、葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。
図書の貸出冊数6冊までに変更。期間は従来どおり2週間。
- 63. 4 雑誌の収集分担・保存等の検討のため、雑誌担当者会を発足。
葛飾図書館以外でのCD、カセットテープ及びレコードの貸出に向けてAV担当者会を発足。
- 6 1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。
16日、葛飾図書館に「葛飾区コーナー」を設置。朝日新聞に掲載される。(6月11日朝刊)
「葛飾区コーナー」には、①葛飾区についての記述のある図書、②葛飾区の地名がのっている図書、③葛飾区在住の画家、工芸家等の作品が掲載されている図書、④葛飾区内に在住している人の著作(過去に在住した人を含む)を置く。設置時約130冊。
- 7 区内の小学生に対し、学校を通じて夏休み向けパンフレット、推薦図書リストを配布、図書館

利用を呼びかける。

平成

- 元. 1 区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸し出しに向けて準備を開始。
- 4 1日、葛飾図書館組織改正。奉仕係、資料係及び主査を廃止し、図書館サービス主査3人を新設。(主査3人の事務分掌は、一般奉仕、児童奉仕、電算・広報・調整とする。)
- 新聞の区内図書館関連記事の切り抜きを始める。
- 区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足。
- 資料収集について検討する資料委員会を発足。
- 電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
- 7 1日、区立図書館全7館の児童室開室時間を、それまでの平日午後1時から、一般室と同様午前9時からに改正。
- 8 4日、水元図書館で、小学生が『一日図書館員』を体験。
- 11 1日、区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始。(開始時の所蔵は、CD5, 507枚、カセットテープ10, 628巻、レコード8, 356枚。)貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なしとした。貸出期間は図書と同じく2週間。産業経済新聞に掲載される。(10月26日朝刊)。CDの貸出が11月1ヶ月間で1.4回と好調。
- 同日、葛飾図書館のCD及びレコード、カセットテープの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合した。これに伴い、貸出時間を午後5時から午後8時まで延長。
2. 1 区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾『地方出版物』、立石『戦争と平和』、お花茶屋『実年』、上小松『外国語』、亀有『環境問題』、水元『ヤングレファレンス』、鎌倉『消費者』。葛飾図書館の地方出版物コーナーが読売新聞に掲載される。(1月26日朝刊) 葛飾図書館に洋書コーナーを設置。ビジュアルなものや世界の名作、日本を紹介したものを中心に新規購入した750冊を加え、1,200冊を備える
- 4 図書、雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CDとカセットテープの貸し出しも4点までに拡大。障害者に対する区立図書館のサービスを検討する障害者サービス委員会発足。
- 7 1日、CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ。
- 10 区立図書館全7館において、蔵書の収集分担を開始。分野は、葛飾『0類(総記)・1類(哲学)・8類(言語)・9類(文学:小説を除く)』、立石『3類(社会科学)』、お花茶屋『4類(自然科学)』、上小松『7類(芸術)』、亀有『5類(技術)』、水元『2類(歴史)』、鎌倉『6類(産業)』。
- 11 1日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
3. 1 5日、CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより予約受付は、全館の資料が対象になると同時に、返却も任意の館にすることを可能とした。
- 区立図書館全7館において、文庫本の収集分担を開始。葛飾『ちくま文庫』、立石『PHP文庫』、お花茶屋『福武文庫』、上小松『知的生き方文庫』、講談社英語文庫、亀有『河出文庫』、水元『同時代ライブラリー』、鎌倉『講談社学術・文芸文庫』。

- 3 「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、郷土資料室所蔵の資料を同博物館に移管することとなり、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止した。
- 6 CD-ROMの収集を始める。
- 7 ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を始める。
ビデオ映写機を地域館6館にリースで設置。
- 11 ビデオ映写機を教育センター第1会議室にリースで設置。
音訳ボランティア中級講座を開催。
4. 1 葛飾図書館2階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等区民に役立つ各種の情報資料（主として図書、雑誌）を集めた、情報コーナーを設置。資料の収集範囲と分類は、次のとおり。
 - (1) 情報源がのっているもの。
 - (2) 読書の手がかりとなるもの。
 - (3) 旅行案内。地図。
 - (4) 都内の施設、機関、情報等に関するもの。
 - (5) 文化、趣味、スポーツのための施設、場所案内。
 - (6) 学習、受験、資格取得のための施設、機関、情報等に関するもの。
 - (7) くらし、住まい、仕事に役立つ情報。
 - (8) 医療、健康についての施設、機関等に関するもの。
 - (9) 全国の電話帳。
- 12 区立図書館電算システムの新規機種へ移行（第1回バージョンアップ）（同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施）
利用者開放端末「はてなくん」を設置。
5. 3 児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放。
- 7 各館代表者で構成する図書収集方針策定委員会を発足。
- 8 小学生の『一日図書館員』を全館で実施。
6. 11 葛飾図書館（教育センターホール）で『図書のリサイクル市』を試行。2日間で来場者数2,973人、22,332冊（内訳：一般書14,882冊・児童書4,230冊・雑誌3,220冊）の本を提供。
地域館で、視覚障害者に対する宅配サービスを試行実施。
7. 1 葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入200巻を加え、928巻を備える。貸し出しは1人1巻で1週間。
朗読ボランティア初級養成講座を開催。
- 5 図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。（現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。）
8. 5 朗読ボランティア中級養成講座（全10回）を開催。
- 12 7日、四つ木地区図書館（四つ木四丁目8番1号 よつぎ小学校内）開館。葛飾図書館の分館とする。
9. 8 葛飾図書館の2箇所目の分館として、西水元地区図書館設立工事着工。
- 11 『本のリサイクル市』を亀有図書館で単独開催。1日で来場者数820人、4,500冊。

- (内訳:一般書2,500冊・児童書1,500冊・雑誌500冊)の本を提供。
10. 4 第3日曜日を開館日とする。(地区図書館を除く)
館内整理日を第4木曜日とする。
対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始。
視覚障害・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催。
文庫目録、要項を作成。
11. 1 電算システム新機種へ移行(第2回バージョンアップ)
ソフトは2000年対応を含め、部分開発をする。
AVマーク(AV-NOCS)の導入及び図書マーク(日販マーク)のバージョンアップ。
ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録(METLICS)が検索可能になる。
- 6 1日、西水元地区図書館(西水元二丁目2番8号 西水元あやめ園内)開館。葛飾図書館の分館とする。
12. 4 葛飾図書館の組織改正(管理係・一般サービス係・児童サービス係から、管理係・調整係・図書館サービス係となる)
四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時から午後5時までとする。
返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たに資料の貸出は行わないこととする。
ビデオソフトの貸出期間を2週間とする。
葛飾図書館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
組織改正に伴い、各館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定とし、事務の効率化を図る。
資料の装備を委託から直営に切り替える。
一般公募による非常勤職員を初めて採用。(24名)
- 9 利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成。
お花茶屋図書館耐震及び空調設備改修工事实施。(9/20～11/24休館)
- 11 子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催。(高樓方子氏 10/29・松岡佑子氏11/18・小林衛己子氏11/26)また、『むぎわらぼうしの12年展』を葛飾図書館ロビーにて同時開催。(10/29～11/26)
子ども読書年記念リーフレット『いっぽ いっぽ』を作成。
13. 3 教育研究所が、旧明石小学校へ移転。
FMかつしかで、月2回(第2・第4水曜日)図書館の放送時間を新設。
- 4 教育研究所移転により図書館単独施設となる。教育センターの名称を変更し、葛飾図書館とする。
地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始。
地域館・地区館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録。
- 6 亀有図書館冷暖房設備改修工事实施。(6/5～7/9休館)

- 障害者サービスの利用案内(墨字版)を作成。
- 7 1日から葛飾図書館1階エントランスにて、検定前の小・中学校教科書の展示会開催。
19日、葛飾ゆかりの作家 中島梓氏の御母堂よりその著作の寄贈を受ける。
 - 9 録音図書全国総合目録への参加。5作品を登録。
 - 10 庁内レファレンスサービス事業を開始。
葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始。
紛失・汚破損マニュアルを改訂。
 - 12 葛飾区立図書館の所蔵するレファレンスブック(参考図書)一覧を改訂。
障害者サービスの利用案内(点字版)を作成。
14. 1 葛飾図書館三階行政資料室を、旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化し充実を図る。
利用案内のハングル語版を新たに作成。
- 3 総合的な学習や調べ学習を支援するため、『図書館利用案内小中学校版』を作成。
 - 4 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月公布・施行)に定められた「子ども読書の日」(4月23日)にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催。
 - 5 図書館システムのリース期間満了(平成15年12月)による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。(7月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。)
 - 6 「第1期 読み聞かせボランティア講座(初級)」開催。(受講定員25名に対し、95名の応募)
 - 7 中学生、高校生向けの図書リスト『Dog ears(ドック イアーズ)』を作成し、区立中学校全生徒に配布。
 - 9 葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事实施。(9/2～11/30休館)
併せて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置。
葛飾図書館にBDS(ブック・ディレクション・システム～葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム)を設置。
 - 10 区制70周年記念行事の一つとして、『シルバー図書館員』を実施。
その他、翌年3月までに区制70周年記念行事として、講演会(林あまり氏 1/18・あきやまただし氏 1/25)、人形劇、葛飾昔話紙芝居会、16mmフィルム上映会、区制70年と葛飾区立図書館あゆみ展、文学で見る葛飾区展などを開催。
15. 2 「第2期 読み聞かせボランティア講座(初級)」を開催。(応募者が多数のため第1期を受講できなかった方々の要望に応え、第2期を開催。受講定員25名に対し105名の応募。)
『葛飾区立図書館基本計画』を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスの計画的な充実を図る。
- 4 開館日及び開館時間を拡大する。(地区図書館を除く。)(祝日(1月1日を除く)も開館し、月曜日が祝日にあたる場合は、月曜日を閉館し、翌火曜日を休館とする。祝日の開館時間は、午前9時～午後5時まで。また、土曜日の開館時間を午後5時から午後8時までに延長する。)
AV資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止。
各地域図書館に専用レファレンスカウンターを設置。(地区館を除く。葛飾図書館は平成14年

12月に設置。)

平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始。

6 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(水元)

8 多くの子どもたちが参加できるよう、1日図書館員の開催日を増やす。

9 9月5日、葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区中央図書館建設検討委員会(庁内検討組織)を開催。

9月27日から、前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期 中級読み聞かせボランティア講座」を開催。

12 図書館システムの入替え工事開始。全館12月22日から翌年1月9日まで休館。

入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。(全職員を対象に新システムの操作研修を実施。)

葛飾図書館にパソコン利用者のための、パソコンルームを設置(8席)

16. 1 1月10日開館。新システムによる業務開始。

10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。

10日より、インターネットによる図書館資料の検索開始。

17日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。

28日より、インターネットによる予約受付開始。

新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。

(図書・雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。)(AV資料については変更なし)

リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。

葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。

4 1日、葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設。

文部科学省から今までの児童サービスについての功績に対して、表彰を受ける。

5 12日、青戸地区図書館開設。(青戸5-20-6 青戸地区センター内) 葛飾図書館の分館とする。

新中央図書館の基本設計に向けた図書館内検討チーム発足。

水元保健センター管内の児童館・保育園・図書館による子育て支援機関連絡会に参加(水元)

本年度から導入された、学校図書館支援指導員の導入に伴う、研修を図書館で実施。

新中央図書館整備にあたり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置。

6 新中央図書館整備にむけて、「新中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をとりまとめる。

7 「葛飾区子ども読書活動推進計画」の策定に向けて、検討委員会発足。

8 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(お花茶屋)

居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に中学生のグループ学習に開放。(上小松)

- 10 お花茶屋図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
- 11 葛飾図書館においてDVDの貸出し開始。
葛飾図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
金町保健センター管内の児童館・保育園・図書館子育て支援機関連絡会に参加(葛飾)
第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(葛飾)
- 12 1日、千葉商科大学との連携事業開始。(図書館が発行した紹介状を持参した区民は千葉商科大学図書館の利用カードが発行される。)
17. 2 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(上小松)
ブックスタート事業開始に向けた、ブックスタート準備会発足。
金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバルを開催」(葛飾)
- 3 利用者の登録更新期間を3年から5年に延長。
第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(亀有)
- 4 非常勤図書館専門員の導入。(葛飾区立図書館での経験5年の者は非常勤図書館専門員として最大3年間まで雇用継続。)
ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館」を作成。
区内小・中学校への図書配送サービスを開始。
図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始。
「お気に入りの本を絵にしよう」を実施。(優秀作品は表彰の後、全館を巡回展示。)
- 5 区内中学校の生徒に利用カードを配布。
葛飾区子ども読書活動推進計画の策定。
ブックスタートボランティア講習会を実施。
第1回公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(鎌倉)
ヤングアダルトサービスマニュアルの作成。
パソコンを使った手づくり絵本教室開催。
「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集。(18名応募の中7名選定)
- 6 葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示をはじめめる。
- 8 ブックスタート事業の開始。(図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み。)
立石図書館の改築を目的とした、PFI可能性調査を実施。
- 12 12月28日と1月4日を開館日とする。
- 18 1 葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。(インターネットでも公開。)
ホームページアクセス数100万件を超える。
文字・活字文化振興法施行記念講演会「子どもと本の架け橋に」(島 多代氏)。
(読み聞かせボランティア講座中級の公開講座をかねて。)
- 3 新中央図書館実施設計完成。
利用者アンケートの実施。
- 4 葛飾図書館でカウンター業務の一部委託が始まる。

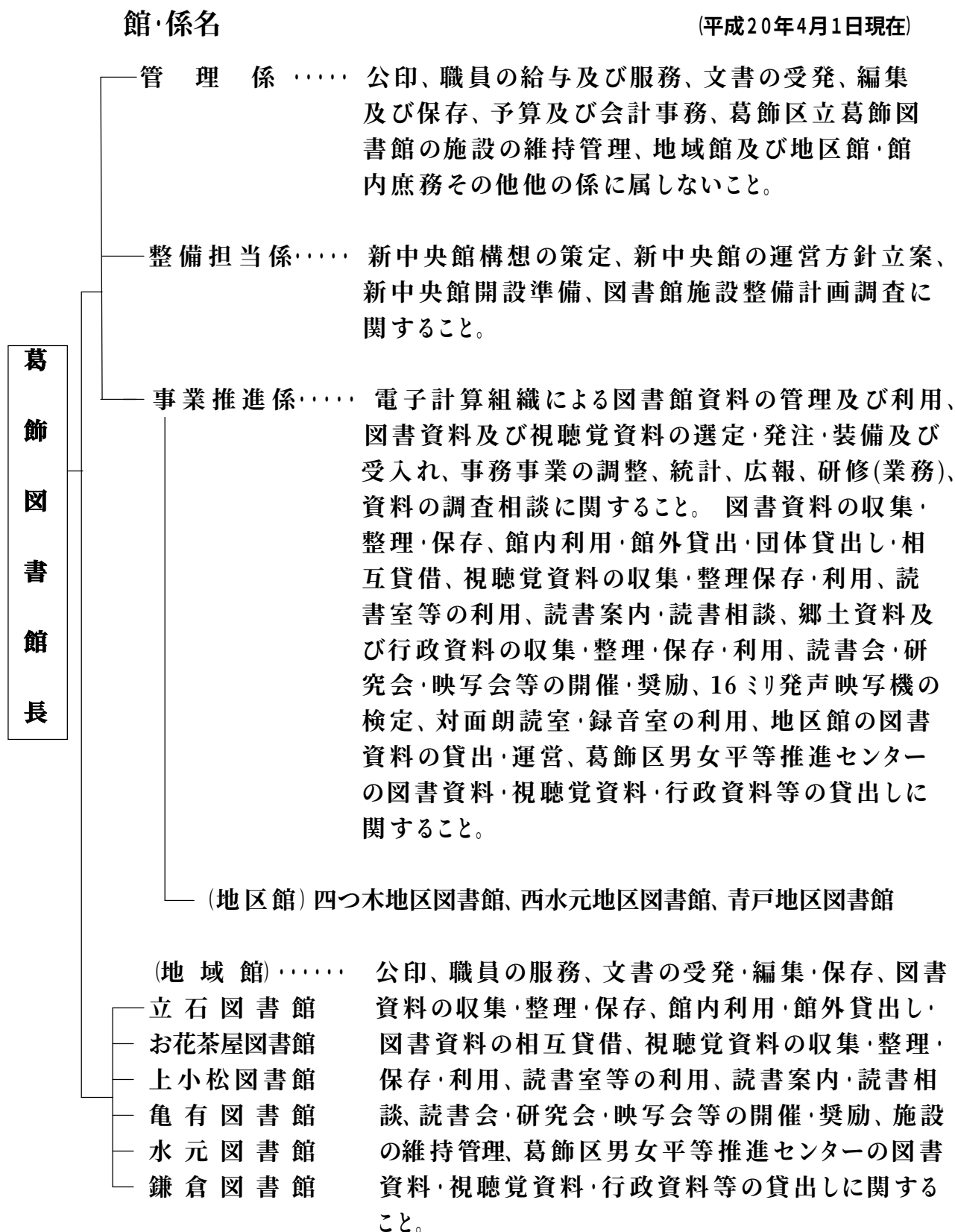
- 18 4 葛飾図書館のみ月曜日を開館。
メールレファレンス受付をホームページ上で開始。
メール督促を開始。
- 5 お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
病院・施設入所者への宅配サービス開始。
点字プリンター設置
- 6 亀有図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
- 8 ホームページデザインのリニューアル。フレームを廃止。
- 9 ビジネス関連コーナーを拡充（葛飾）。
- 11 再開発ビル起工。
障害者サービスボランティア入門講座実施。
- 19 3 中央図書館開設懇談会を終了し、（仮称）図書館友の会準備会へ移行する。
- 5 （仮称）図書館友の会準備会発足。
- 6 立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
図書館ボランティア基礎講座開催。
- 8 ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
- 10 ICタグシステムの導入決定。
- 20 2 21年秋に稼動予定の新システムプロポーザルの公募開始。
- 3 ホームページアクセス数300万件を超える。
- 6 次期システムプロポーザル実施・決定。
- 6 葛飾図書館友の会設立。
- 11 ICタグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
- 21 3 立石図書館が建替え工事のため、休館。立石サービスコーナー開設。

3 開館時間・休館日

(平成20年4月1日現在)

	開 館 時 間	休 館 日
葛飾図書館 一般室	月～土 午前9時～午後8時 日・祝 午前9時～午後5時	館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回:4日間) 年末年始(12月29日～1月3日)
葛飾図書館 児童室	月～金、日・祝 午前9時～午後5時 土 午前9時～午後8時	
立石・ お花茶屋・ 上小松・ 亀有・水元・ 鎌倉 図書館 一般室	火～土 午前9時～午後8時 日・祝 午前9時～午後5時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回:各館2～4日間) 年末年始(12月29日～1月3日)
立石・ お花茶屋・ 上小松・ 亀有・水元・ 鎌倉 図書館 児童室	火～日・祝 午前9時～午後5時	・地区図書館のみ 国民の祝日(祝日が月曜または館内整理日の場合は翌日も)
四つ木・ 西水元・ 青戸 地区図書館	火～木・土・日 午前10時～午後5時 金 午前10時～午後8時	

4 組織図



5 委員会活動報告

平成18年度は、新中央図書館設立に当たって、ICタグの導入が計画され、平成20年には現システムのリース期間が切れることから、現在の図書館システムを見直すため、システム委員会を新たに発足させた。また、各館から選出された代表者によって構成されている下記委員会において、各分野の検討を行った。

(部会名)		職員数(人)	
葛飾図書館長	館長・係長会	一般サービス委員会	9
		YA サービス委員会	13
		児童サービス委員会	9
		図書資料収集委員会	9
		障害者サービス委員会	9
		システム検討委員会	12

(1) 一般サービス委員会

《図書館サービス関係》

- ① 各館申し合わせ事項の見直し。
- ② コピー時の著作権の周知。
- ③ 新中央館準備。

《広報関係》

- ① 「としかんだより」第74号の発行。

《電算関係》

- ① インターネット端末の運用マニュアルの見直し。

(2) YA サービス委員会

- ① 平成20年度Dog Earsを作成し、区内中学校に配布。
- ② 中高生向き雑誌リストを改訂し、区内中学校へ配布、館内のYAコーナーに設置した。
- ③ YA団体パックの見直しを行い、貸出多数のパックを増加した。
- ④ 中学校からのブックトーク依頼にそなえて、ブックトーク研修を定期的に行った。
- ⑤ YA サービス方針を改訂した。

(3) 児童サービス委員会

- ① 学校への図書配送サービス事業が4年目に入り、「日光調べ学習パック」利用のPRとともに、未登録学校への利用登録をすすめた。
- ② 子ども読書の日記念行事「おすすめの本を絵にしよう」を実施。優秀作品の受賞式を行い、葛飾図書館にて作品展示。その後、各図書館で巡回展示。

- ③ 読み聞かせボランティア講座(初級)開催。(5/24、5/28、6/4、6/18、全4回水元図書館にて開催、受講生24名。)第1回は公開講座とした。(講師:伊藤明美氏、参加者48名。)
- ④ 各図書館で一日図書館員を実施。(7/30、8/1、8/6)
- ⑤ 読み聞かせボランティア講座(中級)開催。(10/4、10/15、10/29、11/5、11/19全5回、葛飾図書館にて開催、受講生22名。)第1回は、公開講座とした。(講師:浜田桂子氏、参加者39名)(第2、3回の講師:平田美恵子氏)
- ⑥ 「学校図書館ボランティア研修」(10/10、読み聞かせ入門…受講生34名、10/17、本の修理…受講生33名、葛飾図書館にて開催。)
- ⑦ ブックスタートボランティア研修を実施。(2/5、葛飾図書館にて開催、参加者19名。)(講師:水元保健センター保健士、遠藤富子氏、ことばの森保育園園長、紺野伊久子氏。)
- ⑧ 講演会開催。(講師:あきやまただし氏、10/26、男女平等推進センターにて「親子で楽しむ絵本の世界…あきやまただし絵本ライブ」を開催、参加者112名。)
- ⑨ パパの読み聞かせ講座開催。(講師:安藤哲也氏、1/25、青戸地区センターにて開催、参加者37名。)
- ⑩ 「むぎわらぼうし」、「いちねんせいになったらよんでみよう」、「ライブラリーインフォメーション」のリストを作成。
- ⑪ ブックスタート効果調査アンケート実施。

(4) 図書資料収集委員会

- ① 月例で除籍選定を行い、図書45,998冊の内552冊(復活率1.20%)、CD・カセットテープ491点の内5点(復活率1.02%)を復活資料として選定。
- ② DVDを選定し282タイトルを購入。
- ③ 東京都発行の有償刊行物を選定、購入。
- ④ 都立再活用資料の選定・申込。(20年度2回)。
- ⑤ 図書回収依頼についての取り扱いを検討。
- ⑥ 資料収集マニュアル基準をもとに、各館より受け入れ希望のあったコミック(購入および寄贈)48タイトルについて検討。
- ⑦ 休廃刊雑誌・新規購入雑誌の情報提供および受け入れ雑誌の選定。
- ⑧ 次年度購入雑誌の選定と見直しを行い、「2009葛飾区立図書館雑誌新聞目録」を作成。
- ⑨ 年鑑・白書等収集保存目録(平成15年発行)を見直し、改訂版を作成。
- ⑩ 旅行ガイドブック購入分担館の見直し。
- ⑪ 新中央図書館開館準備に関わる下記事項について検討。
 - 「行政資料 保存分担表」の見直し。
 - 「保存庫ルール」「CD・カセットテープの廃棄基準」試案の作成。
 - レファレンス記録の入力。(各館対応。)

- ⑫ MARKと書誌の整理・統合作業に協力。

(5) 障害者サービス委員会

- ① 四者懇談会の開催(四者名:利用者、音訳・点訳ボランティア、図書館員)開催日9月24日、障がい者サービスの質問等懇談会での要望に対応した。
- ② 朗読CD・デジターの選定購入。
CD文庫43タイトル、音訳カセット2タイトル、デジター3タイトルを選定購入。
- ③ 音訳ボランティア講座(上級)の実施について
音訳者として活動しているか、中級講座を修了した程度のレベルの方を対象に技術の向上を図り、「図表、写真、コミック、専門書の読み方」をテーマに講師を遠藤美枝子氏に依頼し、全3回で24名の受講者に実施した。
- ④ 音訳ボランティア講座(中級ステップアップ)の実施について
音訳者として活動しているか、初級講座を修了した程度のレベルの方を対象に技術の向上を図り、「音声訳技術、記号・グラフ・表・写真等の処理技術」をテーマに講師を中島久子氏に依頼し、全6回で11名の受講者に実施した。
- ⑤ 作成依頼する音訳資料について
録音図書を6タイトル(文学作品2タイトル、ラジオ番組表2タイトル、ガイド作品2タイトル)、デジターを6タイトル(文学作品5タイトル、ラジオ番組表1タイトル)作成した。
- ⑥ 拡大写本について
拡大写本コーナーをお花茶屋図書館で設けた。「とびくす」を作成し、葛飾図書館と地域館に配布した。

(6) システム検討委員会

- ① 「葛飾区図書館業務等システム提供事業者」を選定するためにプロポーザルを実施、提案内容を評価した。
- ② 新図書館システムで始める新しいサービス(予約時の買い物かご方式、本人貸出履歴、HPからの仮登録・仮予約、未所蔵資料の検索・予約など)の問題点や運用方法などの検討を行った。
- ③ 新たに導入されるICタグシステムに伴う自動貸出機、BDSゲートやICリーダライタについて、カウンター周りを中心にレイアウトの検討を行った。
- ④ 自動貸出機やICリーダライタから出力される電波の強さを実機を使って検証を行い、決定をした。
- ⑤ 自動貸出機、BDSゲート、ICリーダライタ、ハンディアンテナなどICタグシステム機器の実機を使用し、読み取り精度などの検証を行った。
- ⑥ ICタグを利用したカウンターでの貸出・返却を効率的に処理するための手順・運用方法の検討を行った。
- ⑦ 図書館システムに入力されている利用者メッセージの整理を行い、新図書館システムへの移行準備を行った。また、自動貸出機で表示させる利用者宛のメッセージについ

ての検討も行った。

- ⑧ 地域館にも導入される自動貸出機の操作手順や装備機能の検討を行った。また、各館にあった自動貸出機の形状(こども用、車椅子用の導入)の検討も行った。
- ⑨ ICタグの貼付範囲(特にセット管理するもの)や貼付ルールなどの検討を行った。
- ⑩ 既存資料へのICタグ貼付作業の立会いや貼付業者からの報告をもとに問題点の検討を行い、貼付ルールなどの見直しも随時行った。

6 (仮称) 葛飾区立中央図書館整備に向けた検討経過

20年度は、6月に『葛飾図書館友の会』を設立し、図書館と協働した学習会の開催や友の会通信の発行を行った。また中央図書館開館に合わせてリースアップする図書館システムの開発および中央図書館の家具・サイン・資料等についての検討を行った。

(1) 図書館友の会設立総会

かねてから準備を進めていた、「葛飾図書館友の会」が発足し、設立総会を開催。規約、役員、活動内容等について議論し、総務委員会、事業委員会、広報委員会の3つの委員会に分かれて活動を行うことになった。

6月7日(土) 参加者 54名 当初会員50名

(2) 図書館友の会事業委員会企画に図書館として参加

「聞こう、話そう、わたしたちの図書館のいまとこれから」

～葛飾の図書館をもっと知ろう～

10月25日(土) 参加者 約20名

(3) 図書館と友の会の共催でスペシャル・トーク・ライブ

「もっと知りたい！出版の今と図書館の本選び」

～出版・流通の現状と図書館の選書～を開催

出版界に今何が起きているのか 横井真木雄氏(吉川弘文館)

ザ・選書 大森輝久氏(東京学芸大学附属図書館)

2月22日(日) 参加者 約60名

(4) 図書館 PT (図書館職員で構成するワーキンググループ)

資料検討 PT 委員7名 全11回開催

- ① 資料収集・購入方法についての検討
- ② かつしかコーナーについての検討
- ③ 医療情報コーナーについての検討
- ④ 資料配架計画についての検討
- ⑤ 書架サインについての検討
- ⑥ 移管資料選定についての検討
- ⑦ 移管作業・スケジュールについての検討

(5) Lib. ニュースの発行

Vol. 11 「『葛飾図書館友の会』が発足しました」	20年6月発行
Vol. 12 「葛飾図書館友の会活動中」	20年9月発行
Vol. 13 「建設工事着々と進行中」	20年12月発行
Vol. 14 「葛飾区立中央図書館10月17日堂々オープン」	21年3月発行

7 施設の概要

	葛 飾 図 書 館	立 石 図 書 館	お花茶屋図書館	上 小 松 図 書 館	亀 有 図 書 館
創 立 年 月 日	S. 42. 4. 20	S. 24. 1. 10 (S. 48. 5. 1 全面改築開館)	S. 52. 6. 1	S. 52. 10. 1	S. 56. 10. 1
所 在 地	〒125-0051 新宿3-7-1   	〒124-0012 立石1-9-1	〒124-0003 お花茶2-1-15  	〒124-0023 東新小岩3-12-1 (都営住宅1階)  	〒125-0061 亀有1-17-5 (都営住宅1・2階)  
電 話 番 号	3607-9201	3696-4451	3690-7661	3696-7901	3690-1901
F A X 番 号	3607-9200	3696-3750	3838-5771	5698-1755	3838-5772
閱 覧 席 数	96 席	0 席	58 席	64 席	80 席
パソコンルーム	8 席	0 席	0 席	6 席	0 席
インターネットコーナー	2 席	0 席	2 席	2 席	2 席
敷 地 面 積	4,153.38 m ²	616.72 m ²	911.09 m ²	(都営住宅敷地)	(都営住宅敷地)
延 床 面 積	5,524.05 m ² (図書館利用部分は 4,688.42 m ²)	1,327.92 m ²	1,754.82 m ²	1,030.94 m ² (図書館部分)	1,472.75 m ² (図書館部分)
蔵 書 数	282,181 冊	68,459 冊	116,618 冊	113,282 冊	111,561 冊
(一 般 書)	(221,991 冊)	(50,309 冊)	(88,180 冊)	(84,866 冊)	(80,098 冊)
(児 童 書)	(60,190 冊)	(18,150 冊)	(28,438 冊)	(28,416 冊)	(31,463 冊)
雑誌タイトル数	283 種	0 種	170 種	150 種	148 種
新 聞 購 読 数	28 種	0 種	13 種	16 種	13 種
A V 資 料 数	8,171 点 〔 CD・カセット・ ・ビデオ・DVD 〕	3,743 点 〔 CD・カセット・ ・ビデオ・DVD 〕	3,344 点 〔 CD・カセット・ ・ビデオ・DVD 〕	4,222 点 〔 CD・カセット・ ・ビデオ・DVD 〕	3,358 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕
開 館 日 数	343 日	292 日	292 日	292 日	292 日
職 員 数	31 人	4 人	4 人	4 人	4 人
(司書・司書補)	(7 人)	(2 人)	(2 人)	(1 人)	(2 人)
非 常 勤 職 員 数	7 人	12 人	12 人	11 人	12 人
(司書・司書補)	(4 人)	(10 人)	(10 人)	(7 人)	(11 人)
委 託 職 員 数	18 人	0 人	0 人	0 人	0 人
(司書・司書補)	(6 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)

* 司書・司書補は職員の内数

* 閲覧席数・蔵書数・雑誌タイトル数・新聞購読数・AV資料数は平成21年4月1日現在

* 職員数・非常勤職員数は平成21年4月1日現在、開館日数は平成20年度実績

* 雑誌タイトル数・新聞購読数の合計欄の数は区立図書館の全蔵書タイトル数

* 立石図書館は建替え工事のため休館。立石サービスコーナーを開設。蔵書数には、立石保管中も含む。

水 元 図 書 館	鎌 倉 図 書 館	四つ木地区図書館	西水元地区図書館	青戸地区図書館	合 計
S. 57. 6. 1	S. 62. 6. 25	H. 8. 12. 7 (葛飾図書館分館)	H. 11. 6. 1 (葛飾図書館分館)	H. 16. 5. 12 (葛飾図書館分館)	
〒125-0033 東水元1-7-3  	〒125-0053 鎌倉2-4-5 	〒124-0011 四つ木4-8-1 よつぎ小学校内 	〒125-0031 西水元2-2-8 西水元あやめ園内 	〒125-0062 青戸5-20-6 青戸地区センター内  	
3627-3111	3650-7741	5670-3321	5660-2201	3838-1273	
3627-3114	5694-4421	5670-3422	5660-2203	3838-1269	
78 席	96 席	10 席	14 席	6 席	502 席
0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	14 席
2 席	2 席	0 席	0 席	0 席	12 席
2,892.81 m ² (複合施設)	1,591.52 m ²	(小学校敷地)	(特別養護 老人ホーム敷地)	(地区センター 敷地)	
1,734.95 m ² (図書館部分)	1,827.42 m ²	230.40 m ²	303.76 m ²	219.56 m ²	14,590.94 m ² (図書館部分)
109,702 冊 (78,176 冊) (31,526 冊)	112,441 冊 (83,871 冊) (28,570 冊)	35,716 冊 (23,443 冊) (12,273 冊)	36,909 冊 (23,063 冊) (13,846 冊)	31,178 冊 (19,415 冊) (11,763 冊)	1,018,047 冊 (753,412 冊) (264,635 冊)
161 種	136 種	61 種	58 種	72 種	607 種
14 種	13 種	8 種	8 種	8 種	39 種
3,413 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	4,078 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	1,526 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	1,518 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	1,365 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	34,738 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕
292 日	292 日	280 日	280 日	280 日	2,935 日
4 人 (0 人)	4 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	55 人 (14 人)
13 人 (10 人)	11 人 (11 人)	5 人 (2 人)	5 人 (3 人)	5 人 (4 人)	93 人 (72 人)
0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	18 人 (6 人)

＊パソコンルーム・インターネットコーナーは閲覧席数の内数

＊パソコンルームは平成15年12月より開始

＊インターネットコーナーは平成17年6月より開始

＊  身障者用トイレ  チャイルドシート  おむつ交換台

8 事業の概要

(1) 一般サービス

① 図書の貸出

図書の貸出しは、区内に在住・在勤・在学及び葛飾区に隣接している区・市に在住し、「利用カード」の交付を受けている方が対象。「利用カード」は、区内全10館で共通に利用できる。

貸出や検索等は、オンラインのコンピューターシステムにより行われている。貸出期間は2週間、貸出冊数は図書、雑誌合わせて30冊まで。

② 閲覧

館内では、自由に図書を閲覧できるようになっているほか、コピーサービスも行っている。館内での閲覧には、住所要件などの利用制限はなく、誰でも自由に利用できる。

また、各館には参考図書（調べものの本）コーナーや新聞・雑誌コーナーが設けられている。

③ 予約・リクエストサービス

一つの図書館の蔵書には限度があり、その中で利用者の資料要求に応えるために「予約・リクエスト」サービスがある。

利用者の求める資料が貸出中、または自館で所蔵していない場合、20冊を限度に「予約・リクエスト」として受け付け、主に次のような方法で提供している。

区内で所蔵している資料については、予約をいただき他の館から取り寄せ、到着後予約者に連絡している。なお、図書・AV資料等の運搬には専用の交換車が毎日運行している。

区内に所蔵していない図書については、他区・市の図書館や都立図書館（館内閲覧の場合あり）・国会図書館（館内閲覧のみ）などから借りて提供するほか、選定会で検討し、購入して提供している。（ただし、他自治体からの取り寄せ、新規購入のリクエストサービスについては、近隣市在住の方には提供していない）

④ レファレンスサービス

レファレンスとは、図書館に来館する利用者の様々な相談に応じることである。このレファレンス業務は、図書の貸出しとならぶ図書館の重要な業務である。

例えば、「老人介護のことについて調べたい」あるいは、「オリンピックの歴史を知りたい」といった質問に対し、インターネット検索や図書資料を探して提供することで、利用者の要求に応じている。

(2) 児童サービス

児童サービスは、公共図書館の重要なサービスの一部門である。子ども時代に体

験した「読書の楽しみ」は、子どもたちの精神的成長に大きな役割を果たしている。児童サービスで大事なことは、多種多様な図書の中から質の高い本を選び、その中から子どもたちに自由に選んでもらうことである。そのために、「はじめて であう えほん (FIRST BOOK)」・一年生用のブックリスト「いちねんせいになったらよんでみよう」・夏休みの推薦図書リスト「むぎわらぼうし」などを作成し、各年齢層に応じた本の紹介に努めている。

平成14年度から新学習指導要領が施行され、「調べ学習」の機会が増えていく中で、区立図書館では、学校図書館を補う形で資料提供等の支援を行うほか、学校と連携した読書活動の普及や、図書館の利用を推進するために、学級招待、学級・学校訪問、体験学習等のサービスを提供している。

また、各図書館では、親子や乳幼児、子どもたちに図書館のPRを含め、読書の意義や楽しさを知らせることを目的に、それぞれ工夫を凝らした行事を行っている。

16年度から、各館ごとに地域の保健所・保育園・児童館などの子育て支援機関が情報交換を行う「子育て支援機関連絡会」に参加することとした。

17年4月から、区内の小・中学校の調べ学習に必要な図書と、読書活動のための図書の団体貸出に、図書館の配送車で配送を開始した。

17年8月から赤ちゃんとお親に本を通して楽しい時間を分かち合うことを応援する。「ブックスタート」事業を開始。

19年度、小学校の日光林間学園移動教室の調べ学習用としての資料「日光調べ学習パック」を作成。20年度より団体貸出実施。21年度はさらにパック数を増やし、事前事後の学習要望に応える予定。

(3) ヤングアダルト (YA) サービス

小学校高学年から青年期の「大人と子ども」の境界にいる世代を YA (ヤングアダルト) と位置付け、「読書の楽しみ」を知ってもらい、様々な資料を使い問題を解決していく力を身につけてもらうことを目的として、この世代に向けたサービスを行っている。

平成16年6月に出された「葛飾区社会教育委員の会議」(青少年が読書に親しむ環境を整備するために)の答申では、区立図書館における中・高校生世代の利用の促進が大きな課題となっており、中・高校生世代の居場所として図書館の YA コーナーの充実が期待されている。

サービスとしては、YA 世代向けの本のリスト「Dog Ears」(ドックイアーズ)の作成及び配布。学校での読書活動促進のための団体貸出の充実。YA 世代向けホームページの作成。「中学生向け図書館利用案内」を作成し、「総合的な学習の時間」などでより有効に図書館を活用してもらうための案内などを行った。

各館においては、中学校の団体利用や職場体験の受け入れ、ブックトーク(テーマに沿った本の紹介)の実施、図書室担当職員または指導員との交流や情報交換など様々な形で学校との連携を図っている。また、各館独自に YA 世代に向けての

情報紙などを作成し、配布している。

(4) 視聴覚 (AV) サービス

視聴覚資料として、CD (コンパクト・ディスク)・カセットテープ・ビデオテープ・DVD の貸出しを行っている。対象は中学生以上、貸出期間は2週間、貸出点数はCD・カセットテープは合わせて4点まで、ビデオテープ・DVD は1点までとしている。

視聴覚資料の収集方針を見直した結果、平成15年度からレコードの収集、貸出を休止している。

16ミリフィルムの貸出しは、葛飾図書館において実施している。

(5) インターネットサービス

区立図書館のホームページを開設し、利用案内、行事予定、ベストリーダー、ベストオーダーなど図書館の様々な情報を提供している。

また、インターネットで図書館資料の検索や、検索した資料をそのまま予約することが出来る。予約した資料が到着した連絡についてもメールでも行っている。このほかにも、個人の貸出状況や予約状況を確認することができる。

ただし、個人情報保護するため、資料の予約や個人情報の確認には、パスワードの登録が必要となる。パスワードは各図書館の窓口で直接本人に交付する。(窓口で仮パスワードを交付し、利用者が館内端末機やホームページでパスワードを変更し、利用する。)

平成18年度からは、ホームページ上からのメールレファレンスを行っている。また、平成19年度から、葛飾・お花茶屋・上小松・鎌倉図書館に加え、立石・亀有・水元図書館に利用者インターネットパソコンを各館2台設置し、インターネット、有料データベースの利用を提供している。

(6) 団体サービス

登録をした団体に、1ヶ月間本を50冊を限度に貸出しをしている。予約やレファレンスも一般と同様に行っている。

このサービスは、地域文庫や幼稚園・保育園・学校などの図書資料のバックアップに、また図書館不便地域のフォローとして役立てている。平成17年度より、学校図書館への団体貸出については、配送車を運行している。

① 登録対象

登録申し込みの対象となる団体は、代表者が葛飾区内に在住する読書サークル・文庫・事務所・その他の団体である。

② 団体用図書

葛飾図書館では団体貸出用の児童図書を所蔵しており、学級文庫等に団体パックも併用し貸出ししている。

(7) 障害者サービス

葛飾区では、目や肢体等が不自由なため図書館の利用が困難な方を対象に次のようなサービスを行っている。

① 対面朗読

利用者からの申し込みにより、図書館は音訳ボランティアに依頼をし、その利用者の最寄の図書館または、申込者の自宅で資料を朗読している。1回の利用時間は2時間以内で、月4回までである。また、葛飾図書館には対面朗読室がある。

② 録音図書の作成及び収集

文字で書かれた資料を音訳して、カセットテープやデージーに録音したものを、録音図書と言い、作成は葛飾図書館で著作権者の承認を得て、ボランティア団体に作成を委託している。

また、市販の朗読CDやデージーの収集にも力を入れている。

③ 点字図書の収集

点字図書は、日本点字図書館から購入したもののほか、区内の点訳グループが作成し寄贈を受けた点字図書も所蔵している。

④ 点訳絵本、布絵本の収集

点訳絵本は、区内の点訳ボランティアグループが市販の絵本に点訳を行う。布絵本は、区内の布絵本ボランティアに作成委託している。

⑤ 宅配サービス

点字図書やカセットテープなど図書館資料の貸出しについては、利用者からの電話申し込みを受けると、郵送または宅配している。同時に、体の不自由な方や高齢で来館の困難な方に対しても宅配をしている。また、墨字版の『カセットテープ図書の目録』、『点字図書目録』を作成している。

⑥ プレクストーク、デージー図書の貸出

デージー録音図書(CD にデジタル録音された図書で、1枚のCDに20時間以上録音でき、検索も簡易)と専用再生機であるプレクストークを1ヶ月間貸し出ししている。

⑦ 音訳者養成のための講座実施

⑧ 四者懇談会

年に1回、利用者、ボランティア(音訳・点訳)、図書館職員が情報交換を行い、相互理解を深めながら、サービスの向上を図っている。

⑨ 拡大写本について

拡大写本のコーナーをお花茶屋図書館内に設置。さらに、機関紙「とぴっくす」を作成し、葛飾図書館と各地域館に配付している。

(8) 広報活動

図書館の行事、利用案内などを「広報かつしか」に掲載しているほか、20年度は以下のような印刷物を作成し、広報活動を行った。

〈印刷物一覧〉

(一般対象)

印 刷 物 名	作成・配布館	発行回数	発行部数
館報「としょかん だより」	各館共通	年1回	16,000部
事業年報	各館共通	年1回	250部
雑誌・新聞目録	各館共通	年1回	70部
図書館行事案内	各館共通	毎月1回	各館必要部数
各館だより(一般向け)	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～200部
各館だより(ヤングアダルト向け)	上小松・亀有 水元・鎌倉	館により 月刊・隔月	各館 150～200部
ヤングアダルト図書リスト 「Dog Ears (ドッグイアーズ)」	各館共通	年1回	13,000部
20年度用図書館カレンダー	各館共通	年1回	60,000部

(児童対象)

印 刷 物 名	作成・配布館	発行回数	発行部数
夏休み推せん図書リスト 「むぎわらぼうし」 (1, 2年・3, 4年・5, 6年用の3種類)	全館共通	年1回	(3種類× 9,000部) 27,000部
1年生リスト 「いちねんせい になったら よんでみよう」	全館共通	年1回	5,000部
児童室だより	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～350部
ライブラリー・インフォメーション 小・中学校先生向け利用案内	全館共通	年1回	1,000部
図書館見学・学級招待時の配布資料	各館独自	年1回	各館必要部数
ほんはともだち	全館共通	隔年	10,000部

(9) 自主活動グループの支援

文学研究・郷土史研究・読書に関わるボランティアをしている団体など自主学習活動を行っているグループに対して、会議室や点字プリンター等の貸し出をしている。

(10) リサイクルコーナー

図書館で除籍した本・雑誌や区民が不用になった本を無料提供することで、図書の再利用を図っている。各館リサイクルコーナーを設けて、随時リサイクル本を提供している。

(11) 学校との連携・学校図書館支援

16年度から、子どもの読書活動の普及・促進や学校図書館の支援を目的に、小学校・中学校の図書担当教諭及び学校図書館支援指導員と図書館職員の連絡会を地域館ごとに立ち上げ、情報交換や連絡調整を行った。さらに、学校図書館支援指導員や学校図書館ボランティアの研修を図書館が行い、学校図書館の機能向上のための支援を行っている。

(12) 学校図書館ボランティアへの支援

17年度より、葛飾学校図書館ボランティア連絡会が、子ども夢基金の助成を受けて活動している。図書館は、場や資料の提供、その他、運営についてのアドバイスなどの支援活動を行っている。

(13) ビジネス支援サービス

起業やスキルアップ、中小企業経営に関する知識など、働く世代が必要としている情報を提供するために以下のサービスを始めた。

- ・ビジネス支援コーナーを設置。効率よく資料を探せるように、また、サービスをPRするために、版年の新しい資料や基本的な資料を集めて展示。(葛飾図書館・お花茶屋図書館・亀有図書館)
- ・インターネットが利用できるパソコンの設置。(葛飾図書館・お花茶屋図書館・上小松図書館・鎌倉図書館)
- ・持ち込みパソコンが利用できる席を設置。(葛飾、上小松)
- ・有料データベースを1～2タイトルずつ導入し、パソコン設置館において無料で提供した。
- ・2ヶ月ごとにテーマを変えて、ビジネス支援関連図書の展示を行っている。(葛飾図書館)
- ・中小企業庁の発行するパンフレットなど、ビジネス支援に関するパンフレットを収集し、配布している。

9 行事实績

(1) 一般室主催行事

①映画会

おもに中学生以上を対象とし、名作・芸術映画・文学作品などを上映した。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	12	9	12	12	12	5	5	67
参加人数	702	192	413	268	315	130	102	2,122

②ビジネス支援講演会

時間管理術の専門家を招き無理のない時間管理の手法を学びたい方のための講演会。

館名	開催月日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
葛 飾	11月8日(土)	夢をかなえる時間管理術	水口 和彦	50

③中村航氏講演会

館名	開催月日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
お花茶屋	11月22日(土)	たぶん正しい育児の話 杉山流子育ての楽しみ方	杉山 亮	33

(2) 障害者サービス委員会主催行事

①上級音訳ボランティア講習会

図書館の音訳ボランティアの活動をしているか、葛飾区で実施した「音訳ボランティア講座(中級)」を終了したか、同等レベルの技術のある方を対象として、技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる体制を整えるため講座を開催した。

講師:遠藤 美枝子氏

受講者数 24名 修了者数 18名

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	2月13日	葛 飾	滑舌練習、アクセント練習	24
第2回	2月24日	葛 飾	滑舌練習、アクセント練習	24
第3回	3月17日	葛 飾	図、写真、コミック、専門書の読み方	24

(2) 児童室主催行事

①講演会

日頃から、その著作などを通して接している作家や著名人を招き、著作にちなんだ話などから読書への興味を深めてもらうことを目的として実施した。

館名	開催月日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
葛 飾	10月26日(日)	親子で楽しむ絵本の世界 あきやまただし絵本ライブ	あきやまただし	112

館名	開催月日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
葛 飾	1月25日(日)	パパの読み聞かせ講座 「パパが読むとおもしろい！子育てに絵本	安藤 哲也	37

②子ども映画会

子どもたちが本や図書館に興味を持つことを目的に、児童書を原作とする映画や名作アニメなどを上映した。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	11	10	12	12	12	4	12	73
参加人数	429	180	188	347	209	117	369	1,839

③おはなし会

子どもと本を結びつける最高の手段として、心を楽しませる「おはなし会」を行った。

また、まだ小さい子どもたちでも楽しめるよう、紙芝居や絵本の読み聞かせを中心にした「絵本読み聞かせ」、0～3歳くらいの子と保護者の方を対象にした「おひざにだっこのおはなし会」など、対象別におはなし会を開催した。

◇おはなし会

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	西水元	青 戸	合 計
回 数	22	21	21	20	20	17	21	11	3	156
参加人数	411	248	186	299	205	210	204	166	40	1,969

◇絵本読み聞かせ

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	50	21	24	25	49	38	25	232
参加人数	575	155	283	209	653	334	172	2,381

◇おひざにだっこのおはなし会

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	青 戸	合計
回 数	23	22	41	36	27	11	12	15	187
参加人数	641	424	1,097	946	582	291	162	303	4,446

◇特別おはなし会(夏のこわいお話、クリスマスのお話会、など)

	葛 飾	立 石	亀 有	水 元	鎌 倉	合計
回 数	2	1	2	7	1	13
参加人数	66	30	47	232	74	449

◇「子ども読書の日」記念おはなし会

	葛 飾	立 石	上小松	鎌 倉	青 戸	合 計
回 数	1	1	1	1	2	6
参加人数	32	12	31	27	20	122

④「子ども読書の日」記念行事

4月23日の「子ども読書の日」及び5月12日までの「子ども読書週間」に、より本に親しんでもらうために、上記おはなし会のほか、「お気に入りの本を絵にしよう」の募集を行い、優秀作品は表彰の後に全館を巡回展示や「よい絵本」などの展示を行った。

⑤人形劇

人形劇団を招き、名作などの上演を通して、本への関心を高めてもらうきっかけづくりとして、児童館やボランティアグループとの共催により実施した。

館名	開催日	内 容	劇団名	参加人数
西水元	3月1日	2ひきのねずみ他	柴又おはなしころりん (ボランティアグループ)	45

⑥保育園・幼稚園招待・訪問

保育園・幼稚園児を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、紙芝居パネルシアターなどで本の紹介をし、団体貸出なども行い、本に親しむ機会を作った。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木
回 数	32	52	49	92	61	75	49	25
参加人数	1,332	1,228	1,492	3,384	1,590	2,277	1,066	577
	西水元	青 戸	合 計					
回 数	19	35	489					
参加人数	430	1,078	14,454					

⑦児童館訪問

児童館に集まる子どもたちを対象に、本の読み聞かせや紙芝居などを行った。

	お花茶屋	上小松	鎌 倉	西水元	合計
回 数	11	15	3	2	31
参加人数	431	445	74	52	1,002

⑧学級招待

小学校2・3年生を対象に学級単位で図書館に招待し、館内見学、ストーリーテリング、パネルシアター、本の紹介などを行ない、本に親しむ機会を作った。

	葛 飾	お花茶屋	上小松	水 元	鎌 倉	西水元	合 計
回 数	5	4	3	11	4	1	28
参加人数	269	345	344	687	227	120	1,992

⑨学級・学校訪問

学校に訪問し、学級や学校単位で図書館の利用方法について説明し、読み聞かせやブックトークなどを行い、本に親しむ機会を作った。

	葛 飾	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	青 戸	合計
回 数	6	13	9	1	1	25	5	60
参加人数	485	960	600	15	23	827	146	3,056

⑩職場体験・図書館見学

図書館の仕事の体験や見学を通して、図書館への理解を深めてもらうとともに、本に親しむ機会を作った。

◇職場体験

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	28	7	12	12	15	16	16	106
参加人数	100	21	40	59	40	38	53	351

◇図書館見学

	葛 飾	お花茶屋	水元	鎌 倉	青 戸	合 計
回 数	3	3	1	2	1	10
参加人数	8	90	1	30	77	206

⑪一日図書館員

小学生4～6年生を対象に、カウンター業務（資料の貸出・返却）などの図書館の仕事を体験してもらい、図書館への関心を深め、本に親しむ機会を作った。

四つ木、西水元・青戸の地区図書館は、1日だけ実施した。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木
回 数	3	3	3	3	3	3	3	1
参加人数	24	22	24	21	23	24	24	3
	西水元	青 戸	合 計					
回 数	1	1	24					
参加人数	3	2	170					

⑫保健所訪問・招待

乳幼児健診等で保健所・保健センターに集まった保護者を対象に、保健所・保健センターや図書館で乳幼児からの絵本の読み聞かせについての話や絵本の紹介を行った。

	葛 飾	お花茶屋	水 元	合計
回 数	12	1	5	18
参加人数	250	80	244	574

⑬読み聞かせボランティア講座

初級編：幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、又はする予定のある方を対象に子どもの読書活動を推進していけるボランティアの養成のため、読み聞かせ講座を開催。
講座は、区広報紙、館内ポスターなどで受講者を募集した。

第8期 初級読み聞かせボランティア講座

	日時	会場	内 容	参加人数
第1回	5月24日	水 元	読み聞かせについて 「子どもに本の楽しさを」 伊藤明美氏	48 (19)
第2回	5月28日	水 元	ボランティア経験者のお話と実演 図書館職員による読み聞かせ指導	20
第3回	6月4日	水 元	図書館職員の实演と受講生発表準備	18
第4回	6月18日	水 元	受講生による発表会	19

＊第1回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

中級編：読み聞かせボランティア講座(初級)修了生のレベルアップを図るとともに、現在読み聞かせを行っている区民の技術向上を図るため講座を開催。
講座は、区広報紙、館内ポスターなどで受講生を募集した。

第4期 中級読み聞かせボランティア講座

	日時	会場	内 容	参加人数
第1回	10月4日	葛 飾	公開講座『絵本の扉を開いたら』 講師 浜田桂子氏(絵本作家)	39 (19)
第2回	10月15日	葛 飾	『絵本の読み聞かせ』について・絵本の選び方・読み方・ プログラムの組み方 講師 平田美恵子氏(「おはなし会ガイドブック」著者)	21
第3回	10月29日	葛 飾	『語り(ストーリーテリング)』を中心に、お話の選び方・語り方・プログラムの組み方 講師 平田美恵子氏(「おはなし会ガイドブック」著者)	26
第4回	11月5日	葛 飾	図書館職員によるおはなし会の企画と実演	21
第5回	11月19日	葛 飾	受講生によるグループ別発表会	22

＊第1回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

⑭ブックスタート

赤ちゃんと保護者が絵本を介して言葉と心を通わす、そのかけがえのないひとときを応援する運動。絵本、イラストアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を手渡し、絵本の読み聞かせを行った。
平成18年4月から、各保健所・保健センターで実施される3・4ヶ月児健診で行っている。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	21	18	12	13	18	16	13	111
パック配布数	788	526	420	449	564	545	368	3,660

ブックスタートボランティア研修の実施

日時	会場	内 容	参加人数
2月5日	葛飾	「現在の子育て事情…地域の中での子育ての論」 区立水元保健センター保健士 遠藤富子氏 「子どもにとっての良い遊ばせ方…遊ばせ方を学ぶ」 私立ことばの森保育園園長 紺野伊久子氏	12

⑮障害児学校訪問・招待

障害のある児童・生徒を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング
パネルシアター、ブックトークなどを行い、本に親しむ機会を作った。

	葛 飾	水 元	西水元	合計
回 数	3	2	15	20
参加人数	46	27	238	311

⑯学校図書館・公共図書館連絡会

子ども読書活動推進計画に基づき、地域の学校と公立図書館との連携を推進するために
担当教諭・支援指導員・ボランティア等の出席のもと、連絡会を行った。

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	合 計
回 数	2	2	1	4	3	3	1	16
参加人数	68	25	25	70	30	56	18	292

⑰その他の行事

◇「おすすめの本を絵にしよう」表彰式ほか	葛 飾 3回 69人
◇学校図書館ボランティア研修	葛 飾 2回 67人
◇末広学童クラブ招待	葛 飾 1回 25人
◇紙芝居の会	葛 飾 4回 60人
◇ブックスタートアンケート配布	立 石 3回 100人
◇1日映画会	お花茶屋 1回 125人
◇ボランティア連絡会ほか	上小松 2回 21人
◇工作教室ほか	亀 有 2回 67人
◇読み聞かせボランティア講座	亀 有 1回 21人
◇ブックスタートアンケート配布	亀 有 2回 66人
◇紙芝居の会ほか	水 元 16回 270人
◇図書館インタビュー	水 元 1回 5人

◇ブッククラブ	水 元 4回 18人
◇教員研修ほか	水 元 12回 230人
◇工作の会ほか	鎌 倉 2回 33人
◇YA交流会ほか	鎌 倉 4回 133人
◇四つ木小学校3年生ブックトーク	四つ木 1回 57人
◇西水元あやめ園訪問	西水元 4回 66人

10 各種統計

(1) サービス実績

		16年度	17年度	18年度	19年度	20年 度	23区平均
区民一人当りの蔵書数	蔵書総数／人口 (図書)	2.32	2.35	2.34	2.34	1,018,047/445,108 = 2. 29 (冊)	2.87(冊)
区民一人当りの貸出冊数	貸出冊数／人口 (図書・雑誌 含団体)	6.06	6.23	6.22	6.25	2,873,308/445,108 = 6. 46 (冊)	(個人貸出) 7.10 (冊)
登録者一人当りの貸出冊数	個人貸出冊数 (図書・雑誌)／登録者数	14.75	14.94	14.98	15.45	2,749,526/182,439 = 15. 07 (冊)	18.98 (冊)
区民一人当りの資料購入費	図書館資料費／人口	233	233	256	461	254,488,304/445,108 = 572 (円)	351 (円)
区民一人当りの購入冊数	購入冊数／人口 (図書)	0.11	0.10	0.12	0.19	111,835/445,108 = 0. 25 (冊)	—
登 録 率	登録者数／人口*100 (個人)	39.70	39.75	39.16	38.49	182,439/445,108*100 = 40. 99 (%)	37.42 (%)
全蔵書の平均貸出回数	貸出冊数／蔵書冊数 (図書・雑誌 含団体)	2.47	2.50	2.51	2.52	2,873,308/1,077,686 = 2. 67 (回)	(個人貸出) 2.48 (回)
開館日一日当りの貸出冊数	貸出冊数(図書・雑誌 含団体)／開館日数平均	9,365	9,512	9,363	9,424	2,873,308/294 = 9, 773 (冊)	—

注：人口、蔵書総数、登録者数は次年度の4月1日現在。

その他は、各年度の実績。登録者には区内在勤・在学・近隣区市を含む。

蔵書数には、新中央図書館分を含まない。購入冊数には新中央館分を含む。

図書資料費は、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料、新中央図書館用資料など全ての資料を含む。

登録者数・貸出冊数・図書館資料費・購入冊数・開館平均日数には、男女平等推進センター分は含まず。

(2) 登録者所在内訳

	一 般 室 登 録 者	児 童 室 登 録 者	合 計	構 成 比
区 内 在 住	141,110	24,762	165,872	90.44%
足 立 区	3,528	233	3,761	2.05%
江 戸 川 区	5,916	735	6,651	3.63%
墨 田 区	484	12	496	0.27%
江 東 区	274	9	283	0.15%
その他の都内	633	1	634	0.35%
都 内 計	151,945	25,752	177,697	96.88%
埼玉県三郷市	1,553	110	1,663	0.91%
千葉県松戸市	1,435	51	1,486	0.81%
そ の 他	2,513	56	2,569	1.40%
合 計	157,446	25,969	183,415	100.00%

注：登録者数は、20年度末までに登録した延べ人数で、男女平等推進センターの登録者を含む。

(3) 図書館資料費推移 (決算額)

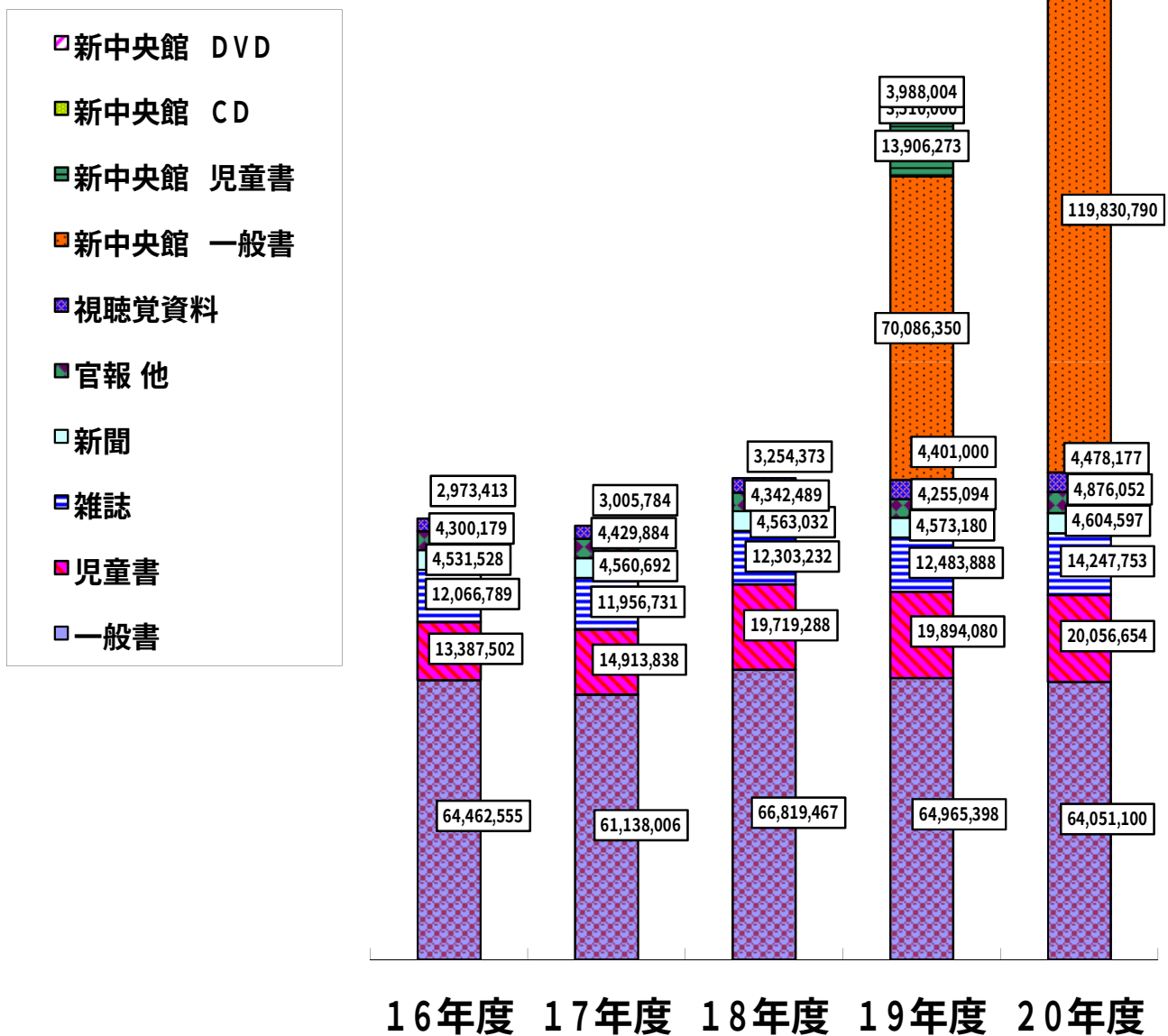
(単位:円・%)

種 別		19 年 度	20 年 度	前年度比
図 書 (計)		84,859,478	84,107,754	-0.9
	一 般 書	64,965,398	64,051,100	-1.4
	児 童 書	19,894,080	20,056,654	0.8
雑 誌		12,483,888	14,247,753	14.1
新 聞		4,573,180	4,567,940	-0.1
官 報		308,112	308,112	0.0
追 録		3,976,806	4,019,216	1.1
	ブックスタート図書資料費	2,231,920	2,458,867	10.2
図書等購入費の計 [A]		108,433,384	109,709,642	1.2
	コンパクトディスク (計)	2,400,597	2,448,647	2.0
	カセットテープ (計)	72,942	67,156	-7.9
	デジtal図書	88,410	87,150	-1.4
	ビデオソフト	0	0	—
	DVD	1,839,051	1,875,224	2.0
	CD-ROM	一般書に含む	126,420	100.0
視聴覚資料費の計 [B]		4,401,000	4,604,597	4.6
図書館資料費の合計 [A] + [B]		112,834,384	114,314,239	1.3

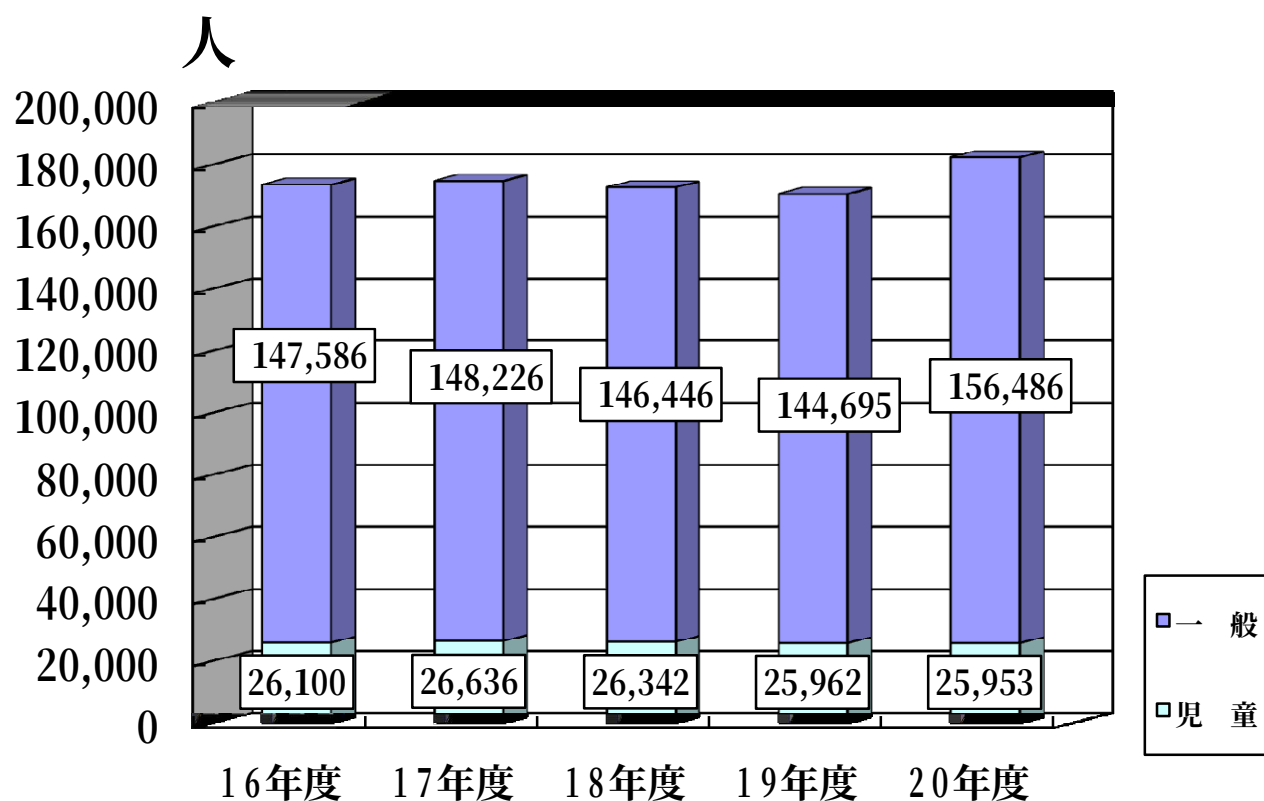
新中央図書館用資料購入

種 別		19 年 度	20 年 度	前年度比
新中央図書館用 一般書		70,086,350	119,830,790	71.0
新中央図書館用 児童書		13,906,273	12,081,719	-13.1
図書等購入費の計 [C]		83,992,623	131,912,509	57.1
新中央図書館用 コンパクトディスク		3,510,000	3,553,555	1.2
新中央図書館用 DVD		3,988,004	4,708,001	18.1
視聴覚資料費の計 [D]		7,498,004	8,261,556	10.2
図書館資料費の合計 [C] + [D]		91,490,627	140,174,065	53.2

図書館資料費推移 (決算額)



(4) 登録者の推移

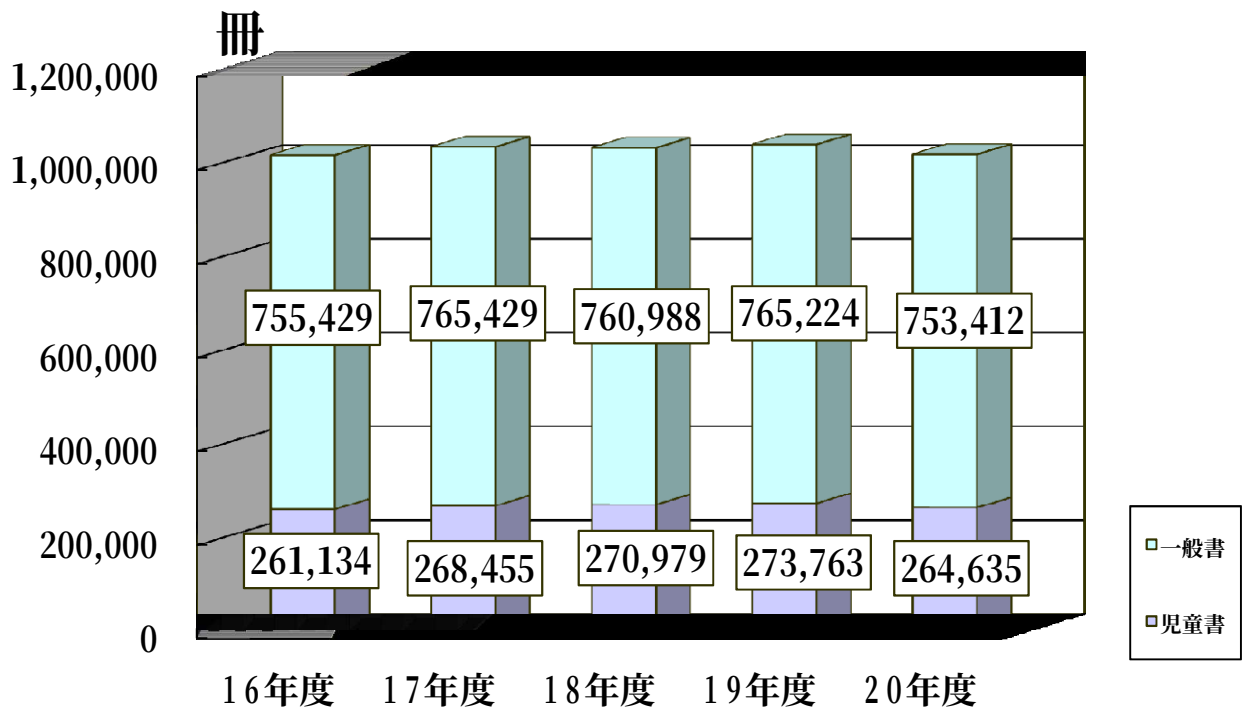


20年度における登録者数

		葛飾	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	合計	男女 センター
新規 登録者	一般	1,987	848	1,061	1,155	786	942	1,001	159	146	365	8,450	27
	児童	576	304	459	473	295	538	557	114	135	127	3,578	0
	合計	2,563	1,152	1,520	1,628	1,081	1,480	1,558	273	281	492	12,028	27
	H S	9	5	8	3	1	2	2	0	1	2	33	0
	団体	79	18	41	18	24	31	15	0	1	0	227	0
	相互	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
開館日数		343	292	292	292	292	292	292	280	280	280	2,935	—
1日平均登録者数		7	4	5	6	4	5	5	1	1	2	4	—
登録者 延べ人数	一般	32,304	18,951	20,864	19,389	14,873	19,616	19,633	3,930	4,538	2,388	156,486	438
	児童	3,776	2,863	3,707	3,097	2,272	4,402	3,063	889	986	898	25,953	9
	合計	36,080	21,814	24,571	22,486	17,145	24,018	22,696	4,819	5,524	3,286	182,439	447
	H S	125	54	145	47	36	38	41	17	20	5	528	1
	団体	377	143	222	237	178	251	177	34	44	13	1,676	0
	相互	261	0	0	1	0	0	0	0	0	0	262	0

*「HS」はハンディキャップサービスの登録者数

(5) 蔵書数の推移



(6) 資料統計 館別蔵書・所蔵数

平成21年4月1日現在

	葛飾	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	合計
図 書	282,181	68,459	116,618	113,282	111,561	109,702	112,441	35,716	36,909	31,178	1,018,047
一 般 書	221,991	50,309	88,180	84,866	80,098	78,176	83,871	23,443	23,063	19,415	753,412
(大活字・点字資料)	4,118	329	633	775	1,158	908	837	200	167	64	9,189
(地域資料)	17,196	1,805	3,595	2,037	2,060	2,160	1,701	506	477	476	32,013
(外国語資料)	3,333	382	687	1,076	1,208	940	683	19	63	0	8,391
児 童 書	60,190	18,150	28,438	28,416	31,463	31,526	28,570	12,273	13,846	11,763	264,635
(紙芝居)	1,001	420	457	498	608	742	775	381	292	220	5,394
(絵 本)	20,977	7,128	10,166	11,018	11,806	12,547	11,166	4,652	5,872	5,449	100,781
新 聞	28	0	13	16	13	14	13	8	8	8	39
雑 誌	283	0	170	150	148	161	136	61	58	72	607
C D	4,574	2,647	2,657	2,860	2,607	2,432	3,234	1,316	1,201	1,330	24,858
カ セ ッ ト	1,257	1,027	608	1,294	693	881	756	183	301	22	7,022
ビ デ オ	1,490	47	53	42	35	75	65	19	7	5	1,838
D V D	850	22	26	26	23	25	23	8	9	8	1,020
16ミリフィルム	655	0	0	0	0	0	0	0	0	0	655

* () は内数
 * 新聞・雑誌はタイトル数
 * ビデオは葛飾図書館のみ(その他の図書館は広報ビデオ)

(7) 館別蔵書冊数

平成21年4月1日現在

一 般 書

単位:冊

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
0 総 記	6,386	1,255	2,312	2,239	2,557	1,757	1,551	311	364	480	19,212
1 哲 学	8,208	1,404	2,582	3,176	2,572	2,215	2,069	522	424	394	23,566
2 歴 史	18,974	4,276	8,025	7,470	6,308	7,057	6,868	1,487	1,287	1,730	63,482
3 社会科学	30,992	6,652	9,608	10,323	8,901	7,989	7,791	1,727	1,583	1,524	87,090
4 自然科学	11,801	2,628	6,077	5,585	4,010	4,107	5,269	1,406	1,214	1,018	43,115
5 技 術	14,241	3,813	5,885	6,554	5,628	5,459	7,460	2,261	1,701	2,548	55,550
6 産 業	5,742	1,636	2,507	2,733	2,288	2,195	3,458	753	508	622	22,442
7 芸 術	16,856	4,257	6,939	8,283	6,574	6,359	6,887	1,416	1,441	1,555	60,567
8 言 語	3,041	840	1,195	889	1,009	1,187	1,373	305	305	399	10,543
9 文 学	45,453	10,307	17,347	20,136	19,234	17,469	19,382	4,639	8,899	3,664	166,530
K 郷土・行政資料	17,196	1,805	3,595	2,037	2,060	2,160	1,701	506	477	476	32,013
L・X 大活字・点字資料	4,118	329	633	775	1,158	908	837	200	167	64	9,189
R 参考図書	12,607	2,173	3,332	2,378	2,682	2,706	1,983	252	277	205	28,595
B 文庫	11,515	4,931	8,765	5,434	6,466	6,876	8,839	4,003	2,348	2,527	61,704
G 外国語資料	3,333	382	687	1,076	1,208	940	683	19	63	0	8,391
Y ヤングアダルト	8,489	2,261	5,956	3,853	5,427	5,490	4,916	2,152	1,443	1,576	41,563
Z 特集本等	2,121	596	1,830	1,214	1,266	1,473	694	20	22	14	9,250
M マンガ	918	764	905	711	750	1,829	2,110	1,464	540	619	10,610
合 計	221,991	50,309	88,180	84,866	80,098	78,176	83,871	23,443	23,063	19,415	753,412

児 童 書

単位:冊

	葛 飾	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
0 総 記	724	127	199	109	145	225	158	83	67	46	1,883
1 哲 学	215	54	110	86	103	77	98	44	32	24	843
2 歴 史	3,161	650	1,055	878	1,127	1,020	1,131	384	484	375	10,265
3 社会科学	2,436	748	1,412	1,034	1,391	1,155	1,131	674	642	457	11,080
4 自然科学	3,875	1,419	2,541	1,935	2,472	2,356	2,393	758	1,326	916	19,991
5 技 術	1,513	645	1,170	744	1,191	974	1,048	506	536	329	8,656
6 産 業	327	132	277	304	242	196	193	104	91	71	1,937
7 芸 術	1,881	697	1,290	1,022	1,505	1,143	1,199	522	611	393	10,263
8 言 語	366	128	209	251	276	176	191	115	176	68	1,956
9 文 学	18,908	5,014	8,398	9,162	9,262	9,350	8,113	3,163	3,142	2,591	77,103
P 紙芝居	1,001	420	457	498	608	742	775	381	292	220	5,394
E 絵 本	20,977	7,128	10,166	11,018	11,806	12,547	11,166	4,652	5,872	5,449	100,781
R 参考図書	843	226	302	430	428	334	257	103	121	180	3,224
B 文庫	2,633	376	778	864	803	966	613	641	374	568	8,616
Z 特集本等	261	210	52	79	77	77	65	21	56	73	971
M マンガ	1,069	176	22	2	27	188	39	122	24	3	1,672
合 計	60,190	18,150	28,438	28,416	31,463	31,526	28,570	12,273	13,846	11,763	264,635

(8) 蔵書冊数表

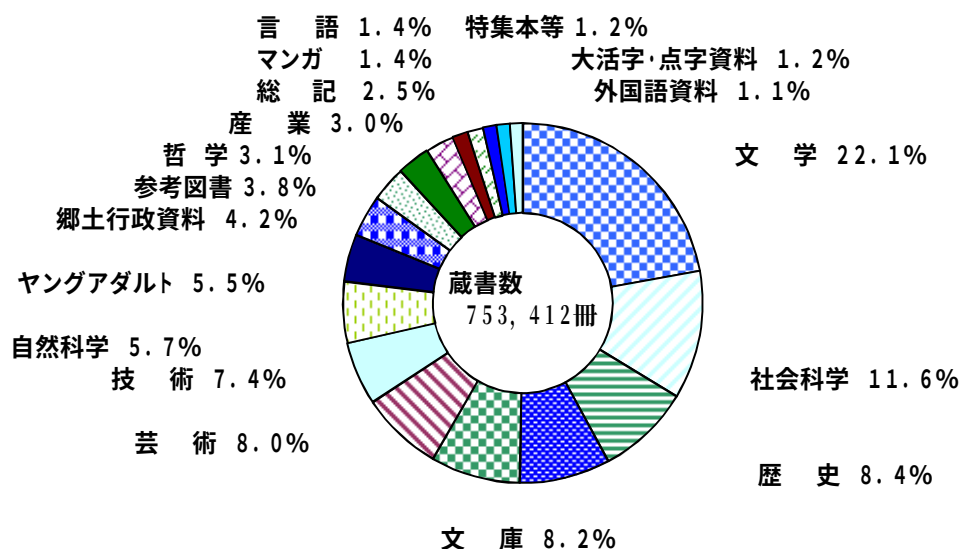
一般書

9	文学	166,530	22.1 %
3	社会科学	87,090	11.6 %
2	歴史	63,482	8.4 %
B	文庫	61,704	8.2 %
7	芸術	60,567	8.0 %
5	技術	55,550	7.4 %
4	自然科学	43,115	5.7 %
Y	ヤングアダルト	41,563	5.5 %
K	郷土・行政資料	32,013	4.2 %
R	参考図書	28,595	3.8 %
1	哲学	23,566	3.1 %
6	産業	22,442	3.0 %
0	総記	19,212	2.5 %
M	マンガ	10,610	1.4 %
8	言語	10,543	1.4 %
Z	特集本等	9,250	1.2 %
L・X	大活字・点字資料	9,189	1.2 %
G	外国語資料	8,391	1.1 %
合 計		753,412	100.0 %

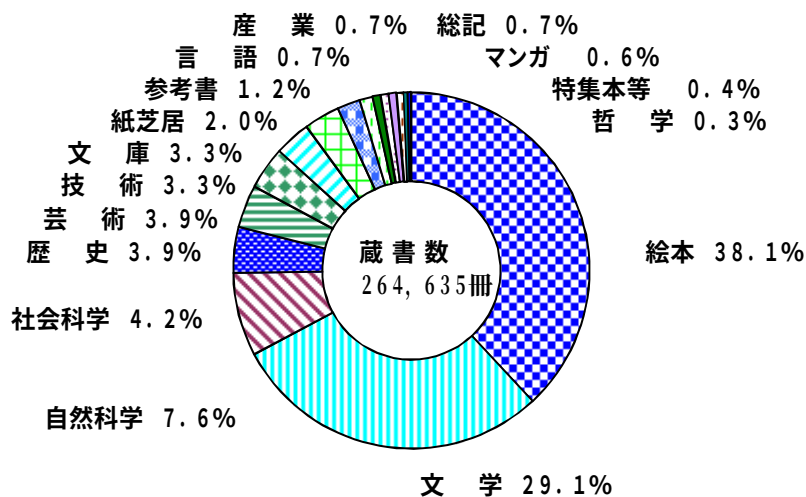
児童書

E	絵本	100,781	38.1 %
9	文学	77,103	29.1 %
4	自然科学	19,991	7.6 %
3	社会科学	11,080	4.2 %
2	歴史	10,265	3.9 %
7	芸術	10,263	3.9 %
5	技術	8,656	3.3 %
B	文庫	8,616	3.3 %
P	紙芝居	5,394	2.0 %
R	参考図書	3,224	1.2 %
8	言語	1,956	0.7 %
6	産業	1,937	0.7 %
0	総記	1,883	0.7 %
M	マンガ	1,672	0.6 %
Z	特集本等	971	0.4 %
1	哲学	843	0.3 %
合 計		264,635	100.0 %

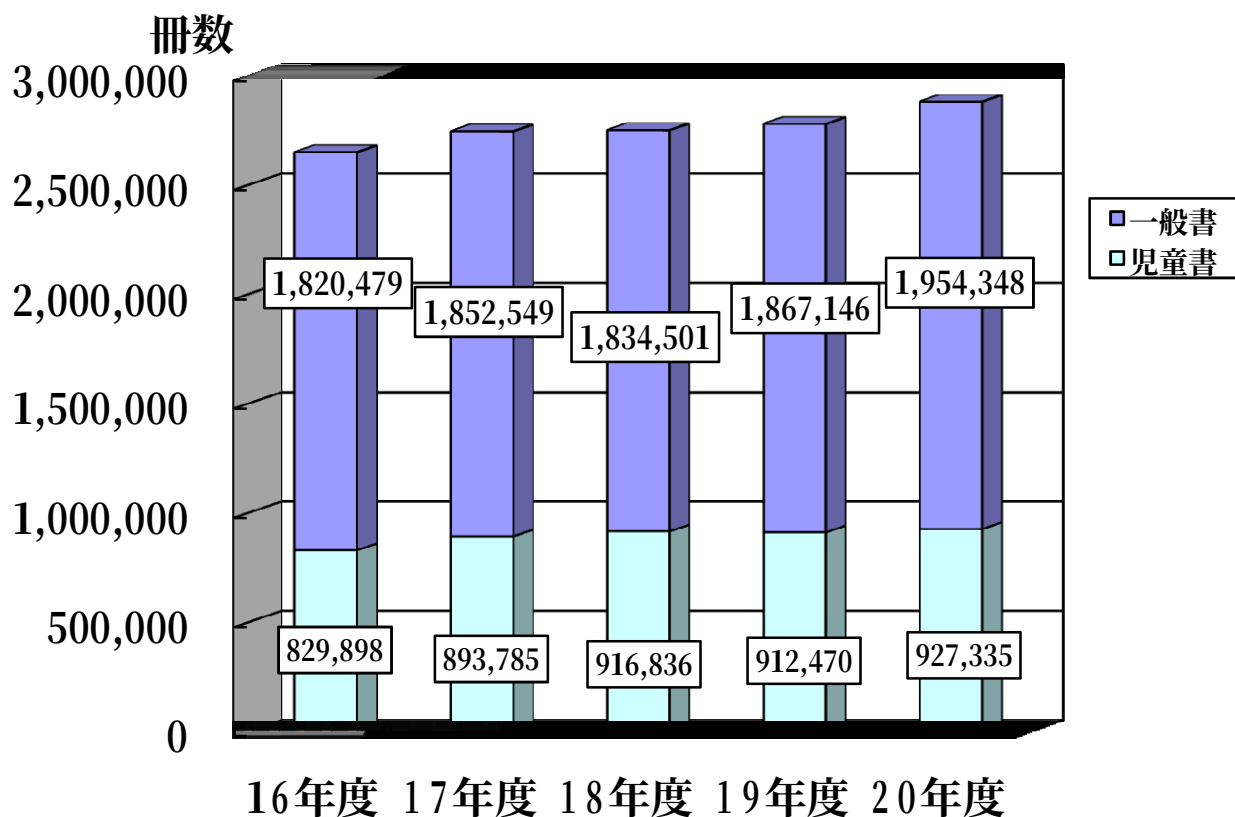
一般書



児童書



(9) 図書貸出冊数の推移



20年度における貸出冊数 (図書・雑誌)

	葛 飾	立 石	お花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計	男 女 センタ-
一 般 書	414,693	159,304	256,130	200,594	174,614	252,385	261,176	73,161	51,050	111,241	1,954,348	4,191
1日平均 貸出冊数	1,209.0	545.6	877.2	687.0	598.0	864.3	894.4	261.3	182.3	397.3	6,516.4	—
児 童 書	185,147	74,733	103,417	117,756	83,984	126,922	103,153	42,387	35,180	54,656	927,335	514
1日平均 貸出冊数	539.8	255.9	354.2	403.3	287.6	434.7	353.3	151.4	125.6	195.2	3,100.9	—
開館日数	343	292	292	292	292	292	292	280	280	280	2,935	—
合 計	599,840	234,037	359,547	318,350	258,598	379,307	364,329	115,548	86,230	165,897	2,881,683	4,705

注:団体等登録利用を含む。

(10) 図書貸出冊数表

(図書・雑誌)

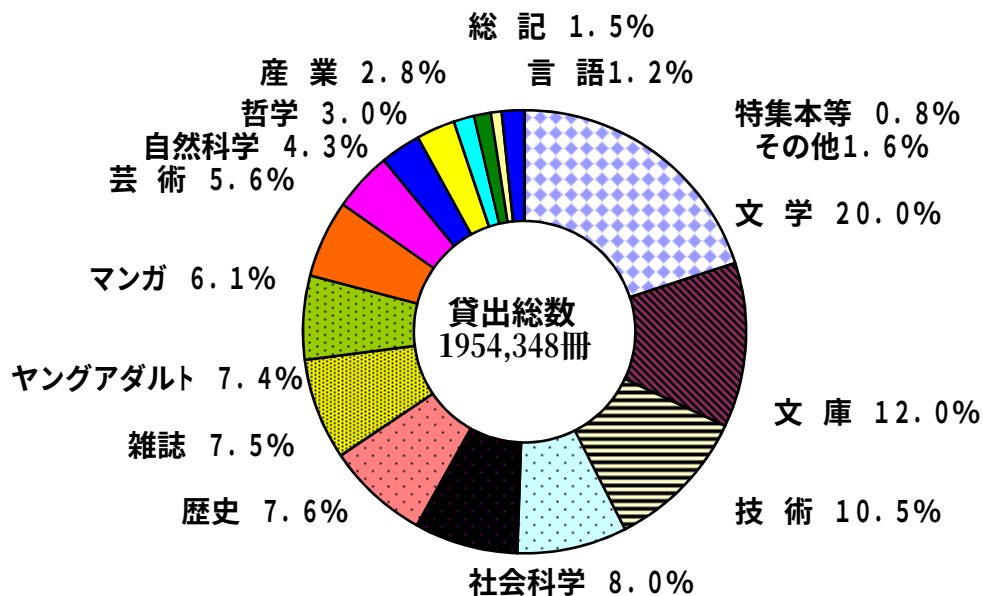
一 般 書

記号	分 類	冊 数	割 合
9	文学	390,276	20.0 %
B	文庫	234,835	12.0 %
5	技術	205,728	10.5 %
3	社会科学	156,481	8.0 %
2	歴史	147,902	7.6 %
	雑誌	146,079	7.5 %
Y	ヤングアダルト	144,906	7.4 %
M	マンガ	119,446	6.1 %
7	芸術	110,256	5.6 %
4	自然科学	84,677	4.3 %
1	哲学	57,904	3.0 %
6	産業	54,917	2.8 %
0	総記	29,329	1.5 %
8	言語	24,245	1.2 %
Z	特集本等	15,320	0.8 %
	そ の 他	32,047	1.6 %
	合 計	1,954,348	100.0 %

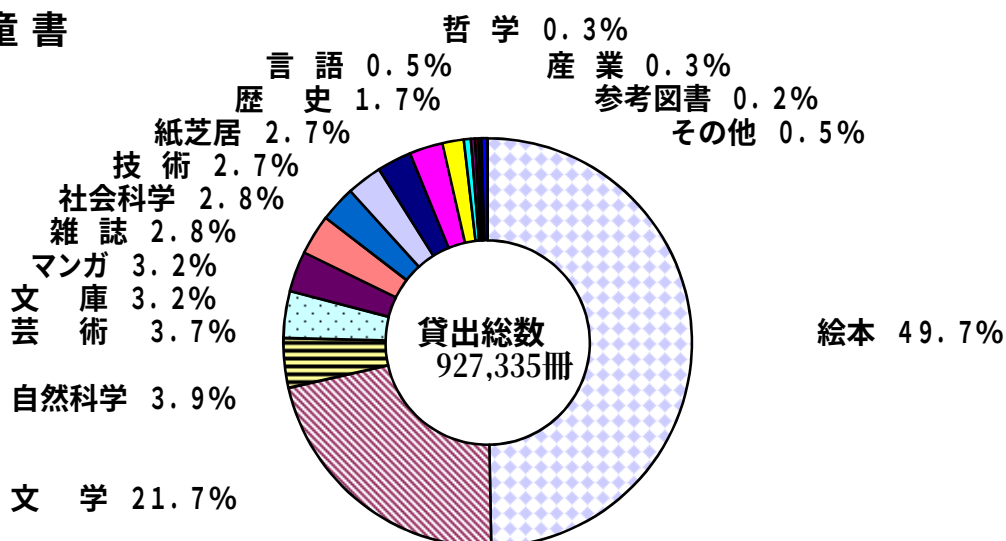
児 童 書

記号	分 類	冊 数	割 合
E	絵本	461,136	49.7 %
9	文学	201,364	21.7 %
4	自然科学	36,333	3.9 %
7	芸術	34,277	3.7 %
B	文庫	29,707	3.2 %
M	マンガ	29,559	3.2 %
	雑誌	26,358	2.8 %
3	社会科学	25,973	2.8 %
5	技術	25,109	2.7 %
P	紙芝居	24,673	2.7 %
2	歴史	15,626	1.7 %
8	言語	5,053	0.5 %
1	哲学	3,020	0.3 %
6	産業	2,497	0.3 %
R	参考図書	2,173	0.2 %
	そ の 他	4,477	0.5 %
	合 計	927,335	100.0 %

一 般 書



児 童 書



(11) AV (視聴覚) 資料利用状況

AV資料貸出数

	葛 飾	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計	男 女 センタ-
C D	39,061	13,854	19,104	18,929	15,495	15,683	18,866	6,058	4,614	11,113	162,777	495
カセット	2,669	975	1,649	1,299	744	1,482	1,971	403	197	109	11,498	1
ビ デ オ	7,023	127	130	174	213	117	176	45	82	94	8,181	9
D V D	7,086	384	422	715	349	327	508	90	133	196	10,210	33
その他	54	2	0	5	0	0	0	0	0	0	61	0
合 計	55,893	15,342	21,305	21,122	16,801	17,609	21,521	6,596	5,026	11,512	192,727	538

16mmフィルム貸出数 (葛飾図書館のみ)

社会教育	交 通	公災害	一般教養	アニメ	合 計
7	0	0	3	13	23

16mmフィルム貸出先 (葛飾図書館のみ)

学 校	官公署	P T A	子ども会	自治町会	自主団体	合 計
0	0	1	0	0	9	10

(12) 予約・リクエスト統計

一般図書・雑誌

館名 内訳	葛 飾	立 石	お花茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計	男女 センター
予約受付	87,860	52,183	59,893	55,465	48,193	64,634	66,744	19,493	11,472	33,521	499,458	2,583
内 借用	1,281	497	729	1,043	923	791	745	275	176	632	7,092	
数 提供不能	40	0	33	19	21	0	0	5	0	29	147	
選定落ち	0	1	5	9	2	0	15	4	0	0	36	

児童図書・雑誌

館名 内訳	葛 飾	立 石	お花茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計	男女 センター
予約受付	14,159	7,328	9,103	11,632	7,579	13,770	11,713	5,146	4,062	6,138	90,630	384
内 提供不能	5	0	1	0	1	0	0	4	0	0	11	
数 選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

A V

館名 内数	葛 飾	立 石	お花茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計	男女 センター
予約受付	10,203	5,893	7,120	8,527	5,570	6,457	8,903	2,070	1,666	3,653	60,062	427
提供不能	25	5	1	11	4	0	0	2	0	4	52	

予約受付 →インターネット・館内端末からの利用者による予約を含む。

借用 →当該資料が区内未所蔵等のため、区外の図書館からの取り寄せたもの。

(他の自治体所蔵の資料のため、一般書・児童書の区別ができず、一般書にまとめて記載した。)

提供不能 →区内・区外ともに資料がなく、絶版等で購入もできなかったもの。

選定落ち →区内・区外ともに資料がなく購入選定を行ったが、区立図書館の蔵書として不適当と判断したもの

予約方法別受付件数 (再掲)

予約方法	合 計	割合
図書館カウンター	94,698	14.33%
インターネット	423,918	64.13%
館内端末	142,365	21.54%
合計	660,981	100%

*男女平等推進センター含む。団体、協力含む。

図書館カウンター →予約・リクエストカードを図書館カウンターに提出し、図書館職員が予約入力する。

インターネット →インターネットによる予約。(平成16年1月28日より受付開始。)

館内端末 →館内利用者端末から、利用者が直接予約入力。(平成15年1月17日より受付開始。)

(13) 蔵書点検

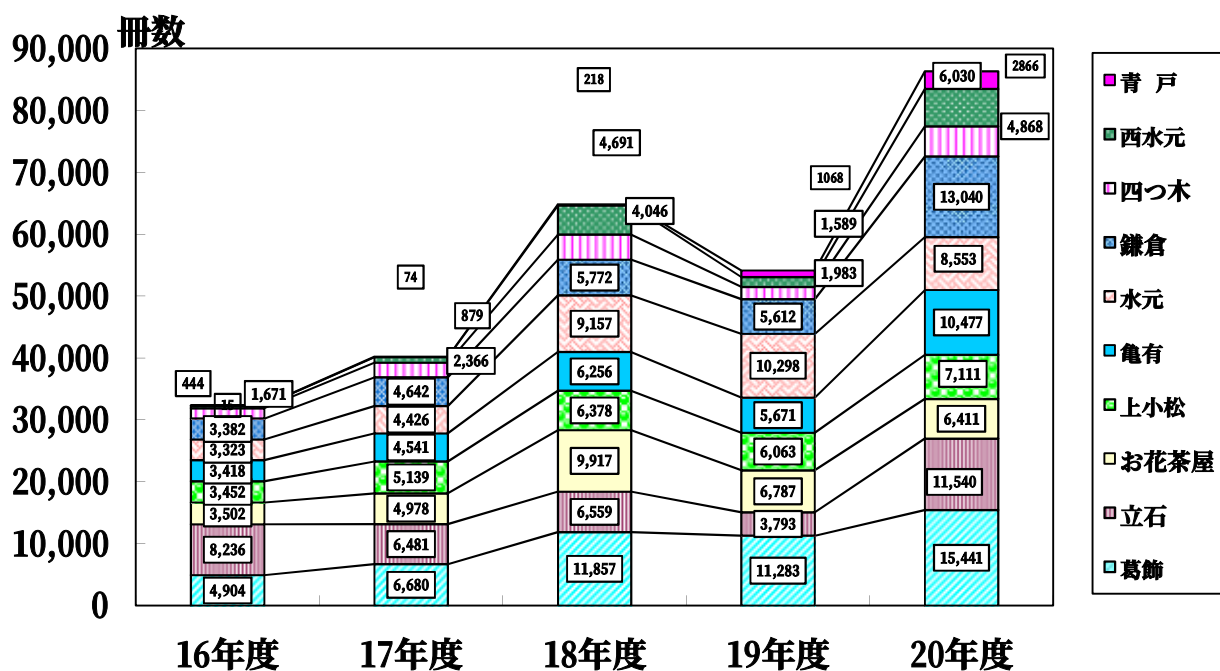
蔵書資料点検の実施時期及び不明数

館 名	蔵書点検実施時期	一般書	児童書	雑誌	図書・雑誌の計	C D	カセット	ビデオ
葛 飾 図 書 館	9月30日～10月 3日	289	58	61	408	13	25	2
立 石 図 書 館	5月27日～5月30日	430	18	145	593	10	9	0
お花茶屋図書館	9月 9日～9月12日	626	42	167	835	38	8	0
上小松図書館	6月 3日～6月 6日	883	35	101	1,019	43	5	0
亀 有 図 書 館	6月10日～6月13日	523	41	56	620	17	44	0
水 元 図 書 館	11月11日～11月14日	769	57	95	921	21	0	0
鎌 倉 図 書 館	9月 2日～9月 5日	712	39	37	788	23	4	0
四つ木地区図書館	10月28日～10月29日	120	27	8	155	3	0	0
西水元地区図書館	10月 8日～10月 9日	125	23	31	179	6	0	0
青 戸地区図書館	7月 2日～7月 3日	382	14	8	404	8	3	0
合 計		4,859	354	709	5,922	182	98	2

図書資料の除籍冊数推移

(平成21年4月1日現在)

館 名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
葛 飾 図 書 館	4,904	6,680	11,857	11,283	15,441
立 石 図 書 館	8,236	6,481	6,559	3,793	11,540
お花茶屋図書館	3,502	4,978	9,917	6,787	6,411
上 小 松 図 書 館	3,452	5,139	6,378	6,063	7,111
亀 有 図 書 館	3,418	4,541	6,256	5,671	10,477
水 元 図 書 館	3,323	4,426	9,157	10,298	8,553
鎌 倉 図 書 館	3,382	4,642	5,772	5,612	13,040
四つ木地区図書館	1,671	2,366	4,046	1,983	4,868
西水元地区図書館	444	879	4,691	1,589	6,030
青 戸地区図書館	15	74	218	1,068	2,866
合 計	32,347	40,206	64,851	54,147	86,337



(14) 図書受入・除籍数

図書受入数

		葛 飾	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
一 般	購 入	57,941	3,331	3,861	3,767	3,864	3,758	4,082	2,145	1,918	2,088	86,755
	寄 贈	3,297	274	895	1,171	610	1,224	638	504	195	304	9,112
	計	61,238	3,605	4,756	4,938	4,474	4,982	4,720	2,649	2,113	2,392	95,867
児 童	購 入	13,752	893	1,443	1,940	1,730	1,669	1,482	750	667	754	25,080
	寄 贈	162	41	30	59	80	159	34	75	13	5	658
	計	13,914	934	1,473	1,999	1,810	1,828	1,516	825	680	759	25,738
合 計	購 入	71,693	4,224	5,304	5,707	5,594	5,427	5,564	2,895	2,585	2,842	111,835
	寄 贈	3,459	315	925	1,230	690	1,383	672	579	208	309	9,770
	計	75,152	4,539	6,229	6,937	6,284	6,810	6,236	3,474	2,793	3,151	121,605

※購入冊数の葛飾分には新中央図書館分54,757冊を含む。

新中央館一般書購入冊数45,937冊。新中央館児童書購入冊数8,820冊。

※寄贈冊数の葛飾分には新中央図書館分1,164冊を含む。

新中央館一般書寄贈冊数1097冊。新中央館児童書寄贈冊数67冊。

雑誌受入数

		葛 飾	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
	購 入	4,092	1,982	2,525	2,320	2,442	2,320	1,893	909	1,127	1,052	20,662
	寄 贈	952	59	107	88	65	121	64	12	12	1	1,481
	合 計	5,044	2,041	2,632	2,408	2,507	2,441	1,957	921	1,139	1,053	22,143

図書除籍数

		葛 飾	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
一 般	廃 棄	11,106	5,924	4,541	3,444	7,344	5,674	8,037	3,868	4,270	1,760	55,968
	亡 失	334	459	1,169	915	549	799	744	129	129	393	5,620
	計	11,440	6,383	5,710	4,359	7,893	6,473	8,781	3,997	4,399	2,153	61,588
児 童	廃 棄	3,930	5,133	652	2,719	2,538	2,023	4,208	843	1,607	698	24,351
	亡 失	71	24	49	33	46	57	51	28	24	15	398
	計	4,001	5,157	701	2,752	2,584	2,080	4,259	871	1,631	713	24,749
合 計	廃 棄	15,036	11,057	5,193	6,163	9,882	7,697	12,245	4,711	5,877	2,458	80,319
	亡 失	405	483	1,218	948	595	856	795	157	153	408	6,018
	計	15,441	11,540	6,411	7,111	10,477	8,553	13,040	4,868	6,030	2,866	86,337

(15) AV受入数

	葛 飾	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
C D	1,766	106	118	110	108	134	118	73	62	84	2,679
カセット	12	0	3	5	3	4	4	3	3	2	39
ビ デ オ	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
D V D	934	7	3	8	5	9	8	0	1	0	975

*葛飾分には、新中央分を含む。

新中央AV受入内訳 (CD…1,586、カセット…8、ビデオ…5、DVD…614)

(16) 団体貸出の利用状況

	葛 飾	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	合 計
登録 団体数	377	143	222	237	178	251	177	34	44	13	1,676
貸出 冊数	20,616	11,256	20,970	21,898	11,217	18,718	9,604	4,816	2,605	2,082	#####

(17) 障害者サービスの利用状況

登録数

登録数 (人)	内 訳		
	視 覚	肢 体	そ の 他
528	116	246	166

対面朗読利用者数 (自宅含む)

利用者数 (人)	延時間 (H)
215	430

資料数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	928	2,840
録音図書	58	100
大活字本	2,622	6,349
文芸カセット	—	539
文芸CD	—	3
デージー図書	78	121
デージー再生機	6台	
点訳絵本	147	147
布絵本	44	76

宅配件数及び貸出数

種 別	タイトル数	冊数
点字図書	0	0
録音図書	136	578
カセット類	12	20
C D	143	143
デージー	47	47
墨字図書	1041	1041

(単位:カセット類;巻, CD・デージー;枚)

(単位:文芸カセット;巻, デージー;枚)

*点字図書は葛飾図書館、その他は全館分

(18) 貸出ベスト 平成20年度

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

一般図書

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	ハリー・ポッターと謎のプリンス 第六巻 上	J. K. ローリング	静山社	577
2	ハリー・ポッターと謎のプリンス 第六巻 下	J. K. ローリング	静山社	486
3	ハリー・ポッターと死の秘宝 上巻	J. K. ローリング	静山社	466
4	ハリー・ポッターと死の秘宝 下巻	J. K. ローリング	静山社	449
5	容疑者Xの献身	東野圭吾	文藝春秋	447
6	赤い指	東野圭吾	講談社	417
7	名もなき毒	宮部みゆき	幻冬舎	412
8	陰日向に咲く	劇団ひとり	幻冬舎	360
9	楽園 上	宮部みゆき	文藝春秋	340
10	東京タワー オカンとボクと、時々、オトン	リリー・フランキー	扶桑社	339
11	かたあしのひよこ	水谷 章三	ほるぷ出版	330
12	楽園 下	宮部みゆき	文藝春秋	325
13	にんきもののねがい	森絵都	童心社	314
14	流星の絆	東野圭吾	講談社	276
14	チョコレート工場の秘密	ロアルド・ダール	評論社	276
16	魔女の宅急便	角野光代	講談社	270
17	るるぶ葛飾区柴又亀有		JTBパブリッシング	266
18	孤宿の人 上	宮部みゆき	新人物往来社	264
19	にんきもののひけつ	森絵都	童心社	263
19	花芒ノ海一居眠り磐音江戸双紙一	佐伯泰英	双葉社	263
20	万両ノ雪一居眠り磐音江戸双紙一	佐伯泰英	双葉社	262

貸出ベスト

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

児童書

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	はらぺこあおむし	エリック・カール	偕成社	653
2	しろくまちゃんのほっとけーき (こぐまちゃんえほん 第3集)	わかやまけん	こぐま社	616
3	ぐりとぐら (こどものとも傑作集)	なかがわりえこ	福音館書店	588
4	ぼくんちカレーライス	つちだのぶこ	佼成出版社	588
5	がたんごとんがたんごとん	安西水丸	福音館書店	580
6	ハリー・ポッターと謎のプリンス 第六巻 上	J.K.ローリング	静山社	577
7	キャベツくん (みるみる絵本 14)	長新太	文研出版	568
8	めっきらもっきらどおんどん (こどものとも傑作集 85)	長谷川摂子	福音館書店	560
9	ぐりとぐらのえんそく (こどものとも傑作選)	なかがわえりこ	福音館書店	517
10	みどりいろのたね	たかどのほうこ	福音館書店	508
11	歯がぬけた (わたしのえほん)	中川ひろたか	PHP研究所	505
12	くっついた	三浦太郎	こぐま社	490
13	カブトくん	タダサトシ	こぐま社	487
14	ハリー・ポッターと謎のプリンス 第六巻 下	J.K.ローリング	静山社	486
15	としょかんライオン (海外秀作絵本 17)	ミシェル・ヌードセン	岩崎書店	480
16	れいぞうこのなつやすみ (とっておきのどうわ)	村上しいこ	静山社	466
16	ハリー・ポッターと死の秘宝 上巻	J.K.ローリング	福音館書店	455
16	もこもここ (みるみる絵本 14)	谷川俊太郎	文研出版	466
17	ねないこだれだ (いやだいやだの絵本 4)	せなけいこ	福音館書店	462
18	エルマーのぼうけん (世界傑作童話シリーズ)	ルース・スタイル ス・ガネット	福音館書店	453
18	ともだちや	内田麟太郎	偕成社	453
19	ハリー・ポッターと死の秘宝 下巻	J.K.ローリング	福音館書店	449
20	ねずみくんのチョコキ (ねずみくんの絵本 1)	なかえよしを	ポプラ社	446
20	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川義史	BL出版	446
20	スイミー—ちいさなかしこいさかなのはなし—	レオ＝レオニ	好学社	446

貸出ベスト

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

AV (CD)

順位	タイトル／歌・演奏者	発行・発売元	貸出回数
1	あかちゃんとお母さんのあそびうた	キングレコード	134
2	Denim / 竹内まりあ	ワーナーミュージック・ジャパン	132
3	CYCLE HIT—スピッツ・コンプリート・シングル・コレクション—1991—1997 / スピッツ	ユニバーサル・ミュージック	127
4	HORIZON / レミオロメン	ビクター・エンターテインメント	116
5	歌バカーKEN HIRAI 10th Anniversary Complete Single Collection / 平井堅	DefSTAR RECORDS	115
6	CYCLE HIT—スピッツ・コンプリート・シングル・コレクション—1997—2005 / スピッツ	ユニバーサル・ミュージック	114
7	ベスト・フォーク100—青春のFORK&POPS—	東芝EMI	112
8	綾小路きみまろ／爆笑スーパーライブ大2集—ガンバッテいただきたいの…—	ティチクレコード	108
9	ベスト・オブ・トウキョウ・スカ1998—2007 / 東京スカパラダイスオーケストラ	エイベックス・エンターテインメント	107
10	A BEST / 浜崎あゆみ	エイベックス	105
11	HOME / Mr. Children	トイズファクトリーレコード	103
12	ベスト・ダム・シング／アヴリル・ラヴィーン	BMGジャパン	100
13	オデッセイ / 平原綾香	コロンビアミュージックエンタテイメント	98
14	NAMELESS WORLD / コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン	97
14	中島美嘉 / BEST	sony music associate	97
15	ザ・ビートルズ 1—27x No1 Hits on 1cd— / ザ・ビートルズ	ポニー・キャニオン	96
16	MR. CHILDREN:1992—1995 / ミスター・チルドレン	B—Gram RECORDS	94
17	ALL SINGLES BEST / コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン	90
18	B—SIDE / Mr. CHILDREN:1992—1995	トイズファクトリーレコード	87
19	A BEST 2:WHITE / 浜崎あゆみ	エイベックス・エンターテインメント	86
19	コージー / 山下達郎	ワーナーミュージック・ジャパン	86
20	のだめオーケストラ LIVE！	ソニー・ミュージックエンターテインメント	84
20	ザ・ビートルズ アンソロジー1 / ザ・ビートルズ	東芝EMI	84
20	Utada Hikaru SINGLE COLLECTION: VOL. 1 / 宇多田ヒカル	東芝EMI	84

貸出ベスト

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

AV (カセット)

順位	タイトル	歌・著者	発行・発売元	貸出回数
1	古今亭志ん生 (NHK落語名人戦 31)	古今亭志ん生	ポリドール	32
2	美川憲一／全曲集	美川憲一	日本クラウン	30
2	よいこのどうようベスト60		日本コロムビア	30
3	モーツァルト／ピアノ協奏曲第24番	モーツァルト	日本フォノグラム	26
3	十代金原亭馬生－茶金／今戸の狐	金原亭馬生	テイチクレコード	26
4	三遊亭金馬 (NHK落語名人選 12)	三遊亭金馬	ポリドール	25
5	女武芸者－剣客商売より－	池波正太郎	横浜録音図書	24
6	チェロ大好き (クラシック大好き)		日本フォノグラム	23
6	愛犬－足袋 「隠花の飾り」より	松本清張	新潮社	23
6	つゆのひぬま (新潮カセットブック 0006)	山本周五郎	新潮社	23
6	芸者変転－剣客商売より－	池波正太郎	横浜録音図書	23
6	F・ショパン／ショパンのある部屋 (音楽インテリア・シリーズ4)	ペーター・マーク	キングレコード	23
7	霞の剣－剣客商売より－	池波正太郎	横浜録音図書	22
7	ぺらぺら英会話決まり文句	中尾行男	ユニコム	22
8	三遊亭円生 (NHK落語名人選 13)	三遊亭円生	ポリドール	21
8	人間国宝・柳家小さん話芸の魅力:4: 竹の水仙・花見小僧	柳谷小さん	キングレコード	21
9	古今亭志ん生 2	古今亭志ん生	CBSソニー	20
9	剣士変貌－剣客商売より－	池波正太郎	横浜録音図書	20
9	棺	水上勉	横浜録音図書	20
9	ロス・プロモス 全曲集	ロス・プリモス	日本クラウン	20
9	松尾和子－メタル・スーパー・ベスト－	松尾和子	ビクター音楽産業	20
10	柳家小三治－キング古典落語特選 17	柳家小三治	キングレコード	19
10	石川さゆり／全曲集 2007年	石川さゆり	テイチクエンタテインメント	19

貸出ベスト

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

AV (ビデオ)

順位	タイトル	監督・製作者	発行・発売元	貸出回数
1	もののけ姫 (ジブリがいっぱい COLLECTION)	宮崎駿	ブエナビクターホームエンタテインメント	43
2	男はつらいよ／寅次郎純情詩集	山田洋二	松竹ホームビデオ	34
3	男はつらいよ／フーテンの寅	森崎東	松竹ホームビデオ	32
3	天国と地獄	黒澤明	東宝	32
4	ゴッドファーザー	フランシス・F・コッポラ	CICビクター	31
4	男はつらいよ／葛飾立志篇	山田洋次	松竹ホームビデオ	31
5	男はつらいよ／寅次郎夕焼け小焼け	山田洋次	松竹ホームビデオ	36
5	トワイライト	ロバート・ベルトン	CICビクター	30
5	男はつらいよ／寅次郎恋やつれ	山田洋次	松竹ホームビデオ	30
6	影武者	黒澤明	東宝	29
6	男はつらいよ／柴又慕情	山田洋次	松竹ホームビデオ	29
6	続・男はつらいよ	山田洋次	松竹ホームビデオ	29
6	麦秋	小津安二郎	松竹ホームビデオ	29
7	男はつらいよ／私の寅さん	山田洋次	松竹ホームビデオ	27
7	砂の器 (松本清張作家活動40年記念)	池広一夫	フジテレビ	27
8	トムとジェリー9	フレッド・クインビー	ワーナー・ホーム・ビデオ	26
8	哀愁	マービン・ルロイ	ワーナー・ホーム・ビデオ	26
8	ショーシャンクの空に	フランク・ダラボン	松竹富士株式会社	26
8	用心棒	黒澤明	東宝	26
9	新きかんしゃトーマス4 (シリーズ2)		フジテレビ映像企画部	25
9	バーバパパのたんじょうび	アネット・チゾン	Tison&Taylor	25
9	特選・刑事コロンボ完全版／ロンドンの傘	リチャード・クワイン	CIC・ビクタービデオ	25
9	男はつらいよ／寅次郎忘れな草	山田洋二	松竹ホームビデオ	25
10	ウルトラマンワールド		バンダイビジュアル	24
10	新機関車トーマス3 (シリーズ2)		フジテレビ映像企画部	24
10	トムとジェリー2	フレッド・クインビー	ワーナー・ホーム・ビデオ	24
10	ダウニング街の陰謀	デビット・ドラリー	東北新社	24
10	ブレードランナー	リドリー・スコット	ワーナー・ホーム・ビデオ	24
10	審理－裁判員制度広報用映画－	原田昌樹	最高裁判所	24

貸出ベスト

対象期間 2008年4月 ～ 2009年3月

AV (DVD)

順位	タイトル	監督・製作者	発行・発売元	貸出回数
1	薔薇の名前 The Name of the Rose	ジャン＝ジャック・アノー	ワーナー・ホーム・ビデオ	64
2	男はつらいよ―柴又慕情― (シリーズ第9作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業部	52
3	審理―裁判員制度広報用映画―	原田昌樹	最高裁判所	50
4	男はつらいよ―拝啓 車 寅次郎様― (シリーズ第47作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業部	49
5	男はつらいよ―寅次郎真実一路― (シリーズ第34作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業部	44
5	男はつらいよ―知床慕情― (シリーズ第38作)	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業部	44
5	男はつらいよ―寅次郎ハイビスカスの花「特別編」―	山田洋次	松竹株式会社ビデオ事業部	44

11 葛飾区立図書館関係例規集

○ 葛飾区立図書館設置条例

(昭和42年3月20日葛飾区条例第10号)

(設置)

第1条 葛飾区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、葛飾区立図書館(以下「館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
葛飾区立葛飾図書館	東京都葛飾区新宿三丁目7番1号
葛飾区立立石図書館	東京都葛飾区立石一丁目9番1号
葛飾区立お花茶屋図書館	東京都葛飾区お花茶屋二丁目1番15号
葛飾区立上小松図書館	東京都葛飾区東新小岩三丁目12番1号
葛飾区立亀有図書館	東京都葛飾区亀有一丁目17番5号
葛飾区立水元図書館	東京都葛飾区東水元一丁目7番3号
葛飾区立鎌倉図書館	東京都葛飾区鎌倉二丁目4番5号

2 前項の館に次のとおり分館を置く。

名称等	位置
葛飾区立葛飾図書館分館 葛飾区立四つ木地区図書館	東京都葛飾区四つ木四丁目8番1号
葛飾区立葛飾図書館分館 葛飾区立西水元地区図書館	東京都葛飾区西水元二丁目2番8号
葛飾区立葛飾図書館分館 葛飾区立青戸地区図書館	東京都葛飾区青戸五丁目20番6号

2項…追加(平成8年条例45号)・一部改正(平成10年条例67号・平成15年条例70号)

(委任)

第3条 この条例の施行について必要な事項は、葛飾区教育委員会が定める。

付 則 (略)

○ 葛飾区立図書館館則

昭和 52 年 4 月 30 日

教委規則第 6 号

東京都葛飾区立図書館館則(昭和 42 年 4 月東京都葛飾区教育委員会規則第 4 号)の全部を改正する。

(目的)

第 1 条 この規則は、葛飾区立図書館設置条例(昭和 42 年葛飾区条例第 10 号。以下「条例」という。)に規定する図書館(以下「館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(館の区分)

第 2 条 葛飾区教育委員会(以下「委員会」という。)は、館を次のとおり区分する。

中央館 葛飾区立葛飾図書館
地域館 葛飾区立立石図書館
地域館 葛飾区立お花茶屋図書館
地域館 葛飾区立上小松図書館
地域館 葛飾区立亀有図書館
地域館 葛飾区立水元図書館
地域館 葛飾区立鎌倉図書館

2 条例第 2 条第 2 項に規定する分館は地区館とし、次に掲げるとおりとする。

地区館 葛飾区立四つ木地区図書館(葛飾区立葛飾図書館分館)
地区館 葛飾区立西水元地区図書館(葛飾区立葛飾図書館分館)
地区館 葛飾区立青戸地区図書館(葛飾区立葛飾図書館分館)

(事業)

第 3 条 館は、図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 3 条の規定に基づき、次の事業を行う。

- (1) 図書資料(図書、記録、官報、公報、地図、絵画、写真集、新聞、雑誌、パンフレット等をいう。以下同じ。)の館内利用、館外貸出し及び団体貸出し
- (2) 読書案内及び読書相談
- (3) 読書会、研究会、講演会、講習会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励
- (4) 視聴覚資料(フィルム、コンパクトディスク、録音テープ、紙芝居等をいう。以下同じ。)の館内利用及び館外貸出し
- (5) 視覚障害者に対する資料の朗読及び資料の録音

(6) 郷土資料(郷土に関する文献等をいう。以下同じ。)の館内利用及び館外貸出し

(7) 他の図書館、学校その他の教育機関との連絡

(8) その他館の目的達成のため必要な事業

2 前項の規定にかかわらず、地区館は次の事業を行う。

(1) 図書資料、視聴覚資料の館内利用及び館外貸出し

(2) その他館の目的達成のため必要な事業

(開館時間)

第4条 開館時間は別表第1のとおりとする。ただし、中央館の館長(以下「中央館長」という。)は、事情によりこれを変更することができる。

(休館日)

第5条 館の休館日は、別表第2のとおりとする。ただし、中央館長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(読書室等の利用)

第6条 館の読書室等の種別及びその利用区分は、次のとおりとする。ただし、中央館長及び地域館の館長(以下「館長」という。)は、事情によりこれを変更し又は制限することができる。

(1) 一般室 主として社会人及び学生

(2) 学習室 主として学生及び生徒

(3) 児童室 概ね12才未満の者及びその付添人

(4) 参考図書室 調査研究のために参考図書を利用する者

(5) 対面朗読室 対面朗読で利用する者

(6) 録音室 録音を行う者

(館内秩序)

第7条 館長は、館内の秩序を乱し、又は他の利用者の迷惑になる行為をする者に対し、館の利用を制限し、又は退館させることができる。

(個人貸出し)

第8条 資料(図書資料、視聴覚資料、郷土資料及び行政資料をいう。以下同じ。)の個人貸出しを受けようとする者は、個人利用カードによらなければならない。

2 前項の個人利用カードは、葛飾区に居住し、勤務し、又は通学する者で、その事実を証明する証書類を提出した者、その他館長が特に必要があると認める者に交付する。

3 個人利用カードの有効期間は、5年とする。

4 貸与され、若しくは譲渡され、又は紛失届の出された個人利用カードは、無効とする。

5 個人貸出しのできる資料の数は、中央館長が別に定める。

6 資料の個人貸出期間は、14 日以内とする。ただし、館長は、利用者から申出があった場合は、7 日以内の延長を認めることができる。

7 前項の規定にかかわらず、中央館長が特に必要があると認める場合は、別に個人貸出期間を定めることができる。

(団体貸出し)

第9条 図書資料の団体貸出しを受けようとする者は、団体登録証によらなければならない。

2 前項の団体登録証は、葛飾区に在住する読書サークル、文庫、事務所その他団体(以下「団体等」という。)の代表者に交付する。

3 団体登録証の有効期間は、3 年とする。

4 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた団体等の代表者に対し、その利用状況について報告を求めることができる。

5 団体貸出しは、1 口 10 冊とし 5 口以内とする。ただし、館長が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

6 図書資料の団体貸出期間は、1 箇月とする。ただし、館長は、あらかじめ申出があった場合は、更に 1 箇月間の延長を認めることができる。

7 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認める場合は、別に団体貸出期間を定めることができる。

(館外貸出し等を禁ずる資料)

第10条 館長が指定した資料は、館外貸出しを禁ずる。ただし、館長が適当と認めた場合は、10 日以内に限り貸出すことができる。

2 館長は、写真等による複写を許さない資料を指定することができる。

(利用中の資料の返却)

第11条 館長は、必要と認めた場合は利用者に対し、利用中の資料を返却させることができる。

(長期未返却者に対する処置)

第12条 館長は、利用者が資料の返却を怠り、督促しても返却しない場合には、以後その者に対し資料の利用を禁ずることができる。

(損害の賠償)

第13条 館長は、利用者が資料を亡失し、又は著しく汚損し、若しくは棄損した場合には、現品又は金額をもって賠償させることができる。

(委任)

第14条 この規則の施行について必要な事項は、中央館長が定める。

別表第1 (第4条関係)

区分	曜日	開館時間
中央館	月曜日から土曜日まで	午後9時から午後8時まで
	日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に定める休日(以下「休日」という。)	午前9時から午後5時まで
地域館	火曜日から土曜日まで	午前9時から午後8時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで
地区館	日曜日、火曜日から木曜日まで及び土曜日	午前10時から午後5時まで
	金曜日	午前10時から午後8時まで

別表第2 (第5条関係)

区分	休館日
中央館	(1) 館内整理日(毎週第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (2) 1月1日から同月3日まで (3) 12月29日から同月31日まで (4) 特別整理期間 1年のうち7日以内
地域館	(1) 月曜日。ただし、その日が休日(1月1日を除く。)に当たるときは、その直後の休日でない日とする。 (2) 館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日にあたるときは、その翌日とする。) (3) 1月1日から同月3日まで (4) 12月29日から同月 (5) 特別整理期間 1年のうち7日以内
地区館	(1) 月曜日 (2) 休日(1月1日を除く。)。ただし、その日が月曜日に当たるときは、その直後の休日でない日を休館日とし、休日のうち祝日法第3条第2項で規定する休日が月曜日に当たるときは、その前日を開館日、その直後の休日でない日を休館日とする。 (3) 館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (4) 1月1日から同月3日まで (5) 12月29日から同月31日まで (6) 特別整理期間 1年のうち7日以内

○ 葛飾区子ども読書活動推進計画(抜粋)

第1章 計画策定の背景

1 計画策定の意義

平成8年に第15期中央教育審議会第1次答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」が出され、子どもたちに「ゆとり教育」と「生きる力」を与えることが重要であるとされました。特に「生きる力」を養うためには、豊かな人間性、思いやり、郷土愛等を育むことが大切であるとし、平成10年中央教育審議会答申「新しい時代を拓く心を育てるために-次世代を育てる心を失う危機」では、「心の教育」の重要性や、時代の変化に応じた問題解決能力を育成するための「総合的な学習」の必要性が提案されました。

また平成12年教育改革国民会議報告書では、読み、書き、話すなど言葉の教育が重要であるとの報告が出される一方、OECDの「生徒の学習到達度調査」により、日本の子どもの読書離れが指摘されるなど、読書活動への関心が高まってきました。

こうした社会的な動きを受け、平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、翌年には、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されて、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことが出来ないものであり、社会全体でその推進を図っていくことが重要である」として読書活動の推進が必要であるとされました。

さらに、読書活動を通して親子や地域の大人と子どものふれあいの場を作っていくことは、子どもの育成を社会全体で支えるという子育て支援にも繋がるものです。

こうしたことから、本区においても、「葛飾区基本計画」や「葛飾区教育振興ビジョン」、「葛飾区図書館基本計画」などにおいて、読書活動や読書環境の整備に努めているところです。

しかし、現在の子どもを取り巻く環境はテレビやマンガ、ゲームなどメディアからの強い影響力が及んでおり、子どもの興味が読書に向くことが困難となっています。

このため、子どもの読書活動を推進していくためには、読書に限らず地域の子どもの育成や地域の活動に関わる人や団体が互いに協力し、地域の文化活動の活性化を図り、子どもを取り巻く文化的環境を向上させることが求められています。

このような背景のなかで家庭・地域・行政や関連機関が一体となって子どもと本を結びつけるため、子どもの読書活動の推進に関する施策についての基本的な計画を策定するものです。

2 国および東京都の動向(省略)

第2章 基本的な考え方

1 計画の性格

この計画は子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づく計画であり、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」および東京都が策定した「東京都子ども読書活動推進計画」を基本に、葛飾区における子どもの読書活動の状況を踏まえて策定します。

また、この計画は区の基本計画をはじめ、「葛飾区教育振興ビジョン」や「葛飾区子育て支援行動計画」、「葛飾区図書館基本計画」などとも整合を図り、区と区民が連携して子どもの読書活動を推進していくための施策の方向性や取組を示します。

2 計画の目標

(1) 子どもの読書環境の整備

区では、子どもが本を読むことを習慣化できるように、乳幼児期からの働きかけを行うとともに、家庭・地域・学校において、その場所や子どもの発達段階に応じた働きかけができる環境の整備を目指します。

(2) 地域全体での推進体制

区では、子どもが日常生活の中で本に親しむ機会をより多く得られるように、子どもの健全育成に関わる機関や団体などがこれまで以上に連携・協力を深め、地域社会全体で子どもの読書活動を推進できる体制を目指すために、区民、民間団体、行政機関などへの啓発活動を実施します。

(3) 子どもの読書活動に関わる人材の育成

子どもの読書活動の推進を行う人材を育成するため、ボランティア、関係機関の職員、教員等への研修会や連絡会を行うとともに、地域団体が行う自主的な研修会や学習活動などを支援します。

3 計画の期間

平成17年度から平成21年度までの5年間とします。なお、区基本計画等との整合性に留意しながら、必要に応じ見直しを行います。

第3章 葛飾区子ども読書活動の現状と課題(省略)

第4章 読書活動推進に向けた具体的な取組

1 乳幼児期における取組

乳幼児と保護者に読書の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡す、「ブックスタート事業」を中核として、絵本の読み聞かせを家庭で実施するきっかけづくりや保護者が絵本を選ぶ手助けとなる事業を子育て支援事業の一環として実施していきます。

- 保健センターの健康診査等を利用した「ブックスタート事業」の実施(区立図書館・保健センター)

- 保健センターがサポートする育児グループの読書活動の支援（区立図書館・保健センター）
- 保健センターの4ヶ月健康診査等で区立図書館が作成する絵本のリスト「ファーストブック」を配布（区立図書館・保健センター）
- 年齢別のおすすめの絵本のリスト作成やホームページへの掲出（区立図書館）
- ブックスタートのフォロー事業として児童館で図書館職員等による絵本の読み聞かせや保護者への啓発事業などを実施（区立図書館）

2 児童・生徒への取組

児童・生徒の読書活動を推進するために、学校・家庭・地域においてさまざまな機会を利用して働きかける体制を整えるとともに、それぞれの取組が緊密に連携できるよう連絡体制を整えます。

(1) 区立図書館の児童サービスの充実

児童・生徒が図書館を利用するきっかけを作り、また読書活動の内容を深めていけるように児童サービスの充実を図ります。

- 児童室蔵書の充実
- 児童室行事の充実
- 読書相談、レファレンス（注5）機能の充実
- ボランティアとの協働による児童室行事の充実
- 1日図書館員等参加型行事の充実

（注5）レファレンス：調べものに対して、回答を与えるのではなく、調べるために必要な資料や情報を紹介するサービス。

(2) 区立図書館のヤングアダルトサービスの充実

小学校高学年から中学生・高校生の読書離れ、図書館離れを防止するため区立図書館のヤングアダルトサービスの充実を図ります。

- ヤングアダルトコーナーの充実
- 利用者ノートや利用者の投稿の掲示など利用者参加型の企画の充実
- 中学生の職場体験やボランティアの受入の拡大
- 中学生向けの絵本の読み聞かせ講習の実施

(3) 学校図書館と区立図書館の連絡会の実施

学校・地域団体・区立図書館の連絡や連携を深めるために、区立図書館が中心となり地域の学校図書館の担当教員や支援指導員及び学校図書館で活動するボランティア団体との連絡会を実施します。

(4) 学校開放型児童健全育成事業における取組

学校開放型児童健全育成事業「わくわくチャレンジひろば」の中で、地域の協力を受け、学校図書館の開放やおはなし会などを実施し、放課後の読書活動の支援を行います。

(5) 児童館が行うおはなし会等の行事の充実

児童館で行っているおはなし会や絵本の読み聞かせなどを、ボランティアの協力などにより充実を図ります。

3 学校・学校図書館における取組

葛飾区教育振興ビジョンにおいて、確かな学力の定着のための施策として読書指導・学校図書館の充実が位置付けられています。

児童・生徒の読書活動推進のために、家庭の次に長い時間を過ごす学校の読書環境を整えることは重要です。また教員から児童・生徒に読書推進のための働きかけを行うことはその影響力の大きさから読書活動推進の効果が期待できます。

(1) 学校での読書活動、読書機会の充実

「朝の読書」に代表されるような読書の時間や、読書への導入となる読み聞かせやアニメーション(注6)、ブックトークなどの子どもと本を結びつける取組について、学校が中心となり保護者や地域のボランティアと協力して充実を図ります。

- 読書の時間の全校導入の促進
- 読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせの拡大
- 教員による読み聞かせや本の紹介などの実施
- 各学校で卒業までに読む「必読書」の選定

(注6) アニメーション:ある本をテーマにしたクイズやゲームなどにより読書への興味を持たせる技法。主に学校で行われる。

(2) 学校図書館の充実

学校図書館が学校における読書推進活動の拠点となるように、人・資料・設備の充実と活用を図ります。

- 学校図書館支援指導員の全校配置
- 図書館ボランティアの受入の拡大
- 学校図書館図書標準の充足を目標とした蔵書の充実
- 学校図書館支援指導員と図書館ボランティアへの研修の実施
- 学校図書館の電算化の促進

(3) 図書館利用教育の実施

図書館での本の探し方や利用の方法などの指導を学校のカリキュラムの中で実施し、学校図書館や区立図書館の利用の促進を図るとともに、児童・生徒の自分で調べる力を育てます。

(4) 学校図書館の資源共有ネットワークの検討

文部科学省が進める「学校図書館資源共有化ネットワーク事業(注7)」のような学校図書館どうしの資料の共同利用などのネットワーク構築について、区立図書館との連携と合わせて将来に向けて研究していきます。

(注7) 学校図書館資源共有化ネットワーク事業：学校図書館の蔵書情報の共有化や、蔵書の相互利用のための物流の整備などを行い、学校図書館の図書を地域で共有化することを目指す事業。

- (5) 教員研修の実施
教員研修の中で読書活動に関する内容や区立図書館での実習を実施します。
 - (6) 校内での推進体制の整備
各学校の学校経営方針や指導計画などに読書推進活動を取り入れることを検討していきます。
- 4 区立図書館における取組
- 地域の子どもの読書活動推進の拠点として、従来のサービスの拡充に加え、読書推進活動を行う個人・団体・施設への支援機能の充実を図ります。
- (1) 地域の読書支援センター機能の充実
区立図書館が地域における子ども読書活動の支援センターとなることを目指します。
 - 各施設職員やボランティアへの支援の充実
 - 図書の団体貸出の充実と学校等への図書交換車の運行
 - 各施設とボランティアを仲介するコーディネート機能の充実
 - 各施設等で実施する講座などへの職員の講師派遣
 - 区立図書館の職員の資質向上のための研修の実施
 - (2) 学校との連携
学校における読書活動や学校図書館の整備・運営に対して、資料の団体貸出や研修への協力、活動への助言などの支援を行います
 - 指導室が行う読書推進や図書館に関する教員研修への協力
 - 学校図書館支援指導員や学校図書館ボランティアの研修への協力
 - 団体利用の促進
 - 図書館利用教育の実施の検討
 - 小・中学校向け区立図書館利用のしおりの作成・配布
 - (3) 障害のある子どもへの取組
障害のある子どもが活用できる資料や障害を理解するための資料を充実させます。また、区内にある都立の聾学校、盲学校、養護学校との連携を図り、今後どのような支援が可能か検討します。
 - 布絵本・点字絵本・点訳絵本等資料の充実
 - 布絵本・点字絵本・点訳絵本を作成するボランティアの育成
 - 障害を理解するための本の充実
 - 聾学校、盲学校、養護学校との連絡体制の整備やおはなし会の実施の検討
 - (4) IT (情報通信技術) や新しいメディアの活用を検討
日々進歩する情報通信技術を積極的に研究し、新しい形の図書館サービスの模

索を行い、パソコンやインターネットなどを活用した情報教育の場の提供などを検討していきます。

- パソコンを使った絵本作成講座の実施
- 利用者向けインターネットパソコンの設置と子どもの利用促進

5 保育園・幼稚園における取組

(1) 絵本の読み聞かせ等の実施

園職員により行われている絵本の読み聞かせやおはなし会などを今後も実施するとともに、これを補完するため読み聞かせボランティアによる読み聞かせやおはなし会の実施も検討します。

(2) 団体貸出等を利用した蔵書の充実

各園の蔵書の少なさをカバーするために区立図書館の団体貸出の活用や区立図書館で不要となった児童向け図書の再活用を検討します。

6 児童館・保健センターなど各施設等における取組

(1) 児童館でのおはなし会等の実施

児童館では多くの館で絵本の読み聞かせやおはなし会などを実施しています。今後も引き続きこの事業を実施するとともに、ボランティアとの連携により充実を図ります。また、平日の午前中に来館する乳幼児とその保護者に対しては、ブックスタートのフォローになるような事業を、児童館・区立図書館・ボランティアが連携して実施することを検討します。

(2) 保健センターでの取組

保健センターがサポートしている育児グループの活動の中で、区立図書館と協力して絵本の読み聞かせの紹介や絵本の選び方のアドバイスなどブックスタートのフォローとなる内容を行います。また区立図書館が作成した乳幼児向けの本のリスト「ファーストブック」や図書館のおたよりなどを配布します。

(3) 高齢者支援課での取組

高齢者支援課では、平成16年度に社会参加セミナーの中で「シニア紙芝居ボランティア養成講座」を実施しました。今後もシニアのニーズに合わせたボランティア養成等の講座の実施を検討するとともに、受講後も活動が継続できるよう支援を行います。

(4) 生涯学習における取組

社会教育館などで行う講座の中に、図書館と連携して子どもの読書活動推進に関する内容を取り入れます。また、生涯学習援助制度などを利用して区民の自主的な活動を支援します。

(5) 子ども発達センター等での取組

平成17年度に開設された「子ども発達センター」など、障害や発達に遅れのある子どもが利用する施設において、発達支援の一環として絵本の読み聞かせを実施しま

す。また、絵本の読み聞かせに必要となる図書の団体貸出や読み聞かせボランティアとの協働について区立図書館との連携を検討していきます。

(6) 各施設への図書コーナーの設置の検討

各施設において子ども向けの図書コーナーの設置や区立図書館の団体貸出の利用などを検討します。

7 地域・ボランティアの取組

(1) 読み聞かせボランティア養成講座

区立図書館と読み聞かせボランティアの団体との協働により、読み聞かせボランティア養成講座を実施し、ボランティアの自主的で継続的な活動を支えます。

(2) 子どもの読書の日行事

「子ども読書の日」に図書館が行う行事を家庭や地域への普及啓発のためのものと位置づけ、子どもが本を読んで書いた感想画を募集したり、親子で参加できる企画を地域の団体と協力して実施します。

(3) 子どもの文化を担う人や団体との協力・協働

地域にゆかりのある絵本作家や児童文学者、伝承文学やわらべうた、手遊びなど子どもの文化の普及や伝承に関わる人や団体に、各種行事や研修などに協力していただくとともに、図書館ホームページでこれらの活動を紹介していきます。

(4) 地元書店との協力

地元書店を地域の図書・出版文化の一翼を担う存在と位置づけ、各種ブックリストの配布や行事のポスター掲出などに協力してもらうとともに、読書活動推進の普及のための協働の一環としてキャンペーンや児童図書展示会の実施の依頼などを検討します。

(5) 普及啓発

「広報かつしか」や「かつしかの教育」など、さまざまな機会を活用して、家庭や地域に向けて普及啓発を行います。また、地域で活動する人や団体を区立図書館ホームページで紹介し、推進活動を身近なものと感じてもらえるように工夫します。

第5章 計画推進のための体制

本計画の実現に向けて、各機関・団体がそれぞれの目標にあわせて子どもの読書活動に携わると同時に、各機関および団体どうしの連絡や連携を密にして、本計画を実現していく体制をつくります。

1 関係機関の連携

(1) 学校と区立図書館の連携

文部科学省が進める「学校図書館資源共有化ネットワーク事業」のような学校図書館のネットワークの構築や、学校図書館支援指導員の研修体制など学校全体の課題について、学校と区立図書館とが将来を見据えた検討を行うための連絡・調整体制を整えます。

(2) 児童館・保健センターと図書館等の連携

子どもの読書活動を子育て支援施策の1つとして位置づけていくために、子どもの健全育成に関わる各部課の連携、協力のための実務者の連絡会の実施を検討します。

(3) 関係職員への啓発や人材育成

区立図書館で実施している職員研修やボランティア向けの講座などに関係部課の職員も参加してもらい、職員の意識向上や技能育成を行います。

2 地域団体との協働

(1) 各団体間の連絡・協力体制の確保

子どもの読書に関連したさまざまな分野で活動するボランティア団体同士の連絡体制を整え、ボランティア団体同士の連絡会が継続的に行われていくことを目指します。

(2) 人材育成や活動場所開拓のための協力体制

ボランティア団体同士が協力して自主的に開催する研修会を区が支援します。また活動を広げたいボランティア団体とボランティアを受け入れたい保育園・児童館・学校などとの仲介や調整を区立図書館が行います。

3 計画進捗の把握

区はこの計画の進捗状況を把握し、効果を評価するために、「(仮称)葛飾区子ども読書活動推進委員会」を設置し、子どもの読書活動の啓発普及を図ります。

(17年6月策定)

かつしかの図書館

平成20年度事業年報

平成21年11月発行

編集発行 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 葛飾区金町6-2-1

ヴィナシス金町ブライトコート3階

電 話 3607-9201